

JOHN F. GERM
2016-17 President
Rotary International

国際ロータリー 2840 地区
2016-2017年度

年間活動報告書



Rotary 

追悼

覚悟を楽しんだ人 豊川一男ガバナー (2016-2017) 謹んで哀悼の意を表します

パストガバナー 地区研修リーダー 本田 博己 (前 橋)

豊川一男ガバナーが6月24日(土)に逝去されました。任期をわずか一週間残すのみでした。

私が最後に豊川さんとお話できたのは、入院された直後の5月12日に、懸案事項の打ち合わせも兼ねて、お見舞いに行ったときです。豊川さんはベッドに横たわり点滴を受けておられました。声をかけると、ベッドに起き上がり、普段通りに言葉を交わすことができました。

ガバナー職を最後まで全うできないこと、任期後パストガバナーとして、「恩返し」することができそうもないことが残念だと仰っていましたが、病状を淡々と受け止め、心穏やかに過ごしておられるようでした。

皆様からのご心配の声をお伝えしたら、「ありがたいことです。よろしくお伝えください」とのことでした。そして、「人生の最後に、ロータリーのガバナー職を務めることができ、得難い貴重な体験ができたことに心から感謝しています」とも仰っていました。

豊川さんは、今年1月に再発の診断が出て以降、そのことを心に秘めてガバナー職に邁進されていました。私どもがご本人から深刻な病状であることをお聞きしたのは4月の地区大会直前でした。張りつめたお気持ちで地区大会を無事乗り切った後、安堵されたのか、俄かに食事がとれない状態になったようです。

私がガバナーの時、指名委員長(当時)の松倉紘洋パストガバナーと藤岡南クラブに、豊川さんの指名をお伝えに行ったときのことを思い出します。ご本人もクラブも、ガバナー指名の意義を十分に受け止められ、受諾の意思を表明されました。豊川さんが大病されて4年ぐらいい経過した頃でしたが、その時、日頃の健康管理にご留意されるようお願いしました。

豊川さんは、ノミニー、エレクトの期間を通じて、ガバナー職に必要な見識と地区運営に対する理解を深めることに努め、任期の準備に精励されました。そして、就任され、ガバナー職を見事に務め切ったのです。4月の地区大会では、これからの地区とクラブの方向性を示す「2020年ビジョン・戦略計画」(新3か年計画)の採択を主導しました。

豊川ガバナー年度は、大いなる成果と共に、2840地区を一段と前進させた年度として、地区の歴史に刻まれます。

豊川一男さんは自らの命の限りを覚悟され、ガバナーとしての職責を大いに楽しんだ人でもありました。豊川さんが命を削って刻んだ地区の歴史をしっかりと受け継ぐのが、私たちの役目であると思い定めています。ありがとうございました。安らかにお眠りください。合掌。

(2017年7月)

2016-2017年度を振り返って

国際ロータリー第 2840 地区ガバナー 豊川 一男

6月を迎え、本年度は残すところ1か月となりました。2016-2017年度を振り返らせていただきます。

ジョンF. ジャーム会長は「人類に奉仕するロータリー」ROTARY SERVING HUMANITYと掲げ、ポール・ハリスの言葉「個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は、人類の奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というものはありません。」を引用してロータリーの奉仕を示しました。

2016-2017年度地区スローガンは、

「点から面へ さらに世界へ」
一広げよう<友情と奉仕の>和・輪一

ですが、会員一人一人が積極的に、地域社会奉仕プログラムを立案・実施しました。群馬県の発展に寄与することは、ロータリーの公共イメージ向上と、会員基盤の向上に繋がります。

地区スローガンを基に10項目の地区目標を提示しました。一年間の活動を以下に報告します。

1. 会員及びクラブの交流を推進しよう

新たなクラブに3回、メイクアップできましたか。

メイクアップによって地区内外のロータリアンと新たな友情を育み会員相互の連帯感を高めて「絆」を深めることが、ロータリーで一番重要なフェロウシップの確立になります。弛まず交流を深めて下さい。

2. 会員基盤を拡充しよう

2016年~2017年度会員の推移

2016年7月1日現在	会員数	2,058名	女性会員	126名
2016年12月1日現在	会員数	2,112名	女性会員	131名
2017年1月1日現在	会員数	2,094名	女性会員	133名

毎年12月末には退会者が増えますが本年度も同様に、入会4名に対して、退会者18名 物故会員4名 18名の減でした。2017年4月末 会員数2106名 女性会員135名となり現在に至ります。

本年度会員増強目標	地区全体で3%の増強を図る	純増62名
	会員50名未満のクラブ	純増1名以上
	会員50名以上のクラブ	純増2名以上

本年度会長にお願い申し上げます。会員基盤の拡充はロータリーの未来の姿を決定する重要な活動ですので、今年度の会員増強目標が未達のクラブは年度内の達成をお願い致します。

2016-2017年度を振り返って

国際ロータリー第 2840 地区ガバナー 豊川 一男

3. 地域社会および国際社会にロータリーの貢献を発信しよう

女性ネットワーク委員会では地域社会奉仕の一環として、新たな挑戦を行いました。『ロータリーちびっこコンサート』(2017年4月2日)の開催は、「ロータリアンがロータリアンのために」ではなく、「女性ネットワーク委員会が地域の皆さんのために」独自に行った活動です。5名のプロの奏者にご指導をお願いして「音を楽しみ・遊び・学び・体験する」ことが出来ました。当日はこども65名 大人50名 合計115名の地域の方にご参加いただきました。

それぞれのロータリアンがそれぞれの地元で、或いは様々な地域へ、様々な国へ多様な活動を展開しています。新たな奉仕活動のヒントや実践の手本となりますので、クラブ間交流を深めて情報交換と情報発信をしてください。

4. 「未来の夢計画」を進化させロータリー財団 100 周年を祝おう

ロータリー財団 100 周年記念事業は牛久保哲男パストガバナーに委員長に就任していただき「ロータリー財団 100 周年記念事業委員会」を「ロータリー財団委員会」「公共イメージ委員会」「職業奉仕・地域社会奉仕・国際奉仕委員会」合同特別委員会として設置いたしました。



地区補助金事業は念願の地区内 46 クラブ全てから申請をいただきました。これはロータリー財団地区補助金の重要性や活用性を 46 クラブ全てで熟知した結果と評価できます。

ロータリー財団グローバル補助金事業につきましては、本年 5 案件はすべて地区承認しました。

実施 1 件 (2015-2016 年度申請分)

ロータリー財団への申請状況

承認 1 件 現在申請中 3 件 (うち 1 件は却下) 現在作成中 1 件

ポリオ・DDF 寄付 5 万ドルを計画しています。

本年度会長にお願い申し上げます。現在、財団寄付 0 クラブが数クラブあります。皆さん寄付の準備・調整等行っていると思いますが、今年度内に遅滞なく処理できるようにお願いします。

<参考>ロータリー財団資金活用事業 (2015-2016 年度実績)

地域社会に対する奉仕事業に	17,432,650 円
海外からの留学生支援に	24,000,000 円
世界に向けての奉仕事業に	9,712,100 円
ポリオ撲滅支援に	9,868,816 円

(2017年4月16日上毛新聞「地区大会広告」に同時掲載)

2016-2017年度を振り返って

国際ロータリー第 2840 地区ガバナー 豊川 一男

5. ロータリー米山記念奨学会の理解を深め寄付目標を達成しよう

本年度 米山奨学生は 22 名を受け入れました。(継続 9 名を含む)

本年度会長にお願い申し上げます。現在、米山寄付 0 クラブが数クラブあります。皆さん寄付の準備・調整等行っていると思いますが、今年度内に遅滞なく処理できるようにお願いします。

6. 「RI 会長賞」に挑戦しよう

マイロータリー登録 (会員の 1/2 以上)

ロータリークラブセントラルの登録について地区内に実施クラブが少数でした。課題として実施向上に勤めます。

7. IM を開催して、私たちの「未来」を語ろう

6 分区 8 グループ実施しました。

8. 中核的価値観を養い、奉仕に繋げよう

「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」

ロータリーの中核的価値観は、100 年以上の活動で培われたものです。

地区研修委員会を中心に、研修会・セミナーを行いました。

9. 地区およびクラブのビジョン・戦略計画を立案・推進しよう

2020 年は日本のロータリー 100 周年、2840 地区 20 周年を迎えます。来る 20 周年そして 30 年、50 年、100 年先に地区および各クラブが明るい未来を迎えるための礎となるようなビジョンを作るべきときです。

2020 年、そしてその先の未来へ ～地区・クラブの戦略目標～

「魅力あるクラブ」をつくろう

- 1 明るい未来のために素晴らしいビジョンを作ろう
- 2 仲間を増やそう
- 3 ロータリーを楽しもう そして仲間と語ろう
- 4 ロータリーを知ろう
- 5 ロータリーを知らせよう
- 6 奉仕活動の意義を再確認し、充実させよう
- 7 私たちの寄付金を活用し、社会のために良いことをしよう
- 8 寄付の大切さを知り、各自の寄付額を充実させよう

2016-2017年度を振り返って

国際ロータリー第2840地区ガバナー 豊川一男

2020年までに各クラブは自らが持つ素晴らしい歴史にさらに磨きをかけて、より魅力的なクラブへと発展していきましょう。生き生きとした誰もが楽しいクラブ、社会に認知されたクラブ、会員であることに誇りを持てるクラブ、多くの仲間と共にこの目標を実現しましょう。地区はその応援をします。

私たち46クラブは一つです。

(竹内正幸地区戦略委員長による地区大会発表より抜粋)

以上のように2020年までの戦略計画を決定しました。「魅力あるクラブ」を作るために積極的に行動してください。

10. 地区大会に参加しよう

地区内46クラブのロータリアンの皆様、地区外から15地区40名のお客様をお迎えして、本大会参加者1050人でした。

地区大会は、年度の後半4月16日(日)に開催しました。2840地区内46クラブの活動の成果を地区内会員が共に祝うことが出来ました。これを糧にして、明日のために積極的に行動してください。

ロータリー財団100周年記念事業の詳細

本年度2017年は、1917年アトランタ大会でアーチ C. クランフが、「世界でよいことをするために基金を作るのが、極めて適切であると思われます」とロータリー財団を提唱してから、100年を迎え、地区ロータリー財団100周年記念事業委員会は財団創立100周年記念事業を展開し、ロータリー財団創立100周年を祝うことが出来ました。

「END POLIO NOW」の幟(赤・青)作成〈各クラブ1対〉

「END POLIO NOW」のマグネット製コマーシャルシート作成・
車輻貼付〈全会員1枚〉

「END POLIO NOW」の「FMぐんま」でのインフォマーシャル放送〈全20回〉

これら3件を実施しました。



「END POLIO NOW」ポリオ撲滅まで積極的に行動を推進しましょう。



2016-2017年度を振り返って

国際ロータリー第 2840 地区ガバナー 豊川 一男

数値目標

1. 会員増強	地区全体で 3%の増強を図る	純増 62 名
	会員 50 名未満のクラブ	純増 1 名以上
	会員 50 名以上のクラブ	純増 2 名以上
2. ロータリー財団への寄付目標		
	年次寄付 会員一人当たり	150 ドル以上
	ポリオプラス 会員一人当たり	30 ドル以上
3. 米山記念奨学会への寄付目標		
	会員一人当たり	16,000 円以上

現在年度が進行中なので結果を示すことが出来ませんが、ご了承下さい。

本年度は大きな災害が無く、比較的穏やかに地区運営することが出来ました。にもかかわらず、私の不徳の致す所ではありますが、5 月より体調不良のため地区運営を継続することが困難となってしまいました。ガバナー年度終了後にはロータリー活動に専念し、ロータリアンの皆様に恩返し致したいと考えていましたが、任期を全うすることさえ出来なくなりました。皆様にご迷惑・ご負担をお掛けし続けており慙愧に堪えませんが、状況をご理解いただきご協力いただいております地区会員の皆様には誠に有難く感謝の気持ちが絶えません。

結びに、第 2840 地区地区役員・委員長・各クラブ会長・幹事の皆様をはじめロータリアンの皆様は、2020 年に向けて益々フェロシップを拡充し 10 年後、50 年後、100 年後にはロータリーの明るい未来の扉を開くことと確信しています。別世界からであると思いますが拝見させていただく事を楽しみにしています。人生の最後にこの様な重要かつ意義あるテーマを与えていただきました事、人生最大の栄誉と感じています。

国際ロータリー第 2840 地区ロータリアンの皆様に心より御礼申し上げます。

国際ロータリー第 2840 地区
2016-2017 年度
ガバナー 豊川 一男

豊川一男



第1分区ガバナー補佐 佐藤 信一 (前橋東)

本年度は、16年RI規定審議会が開催されました。

「ロータリーの大改革」と言われるように柔軟性がいくつかの処に表に出てきました。例えば、例会の回数、入会金の有無、会員の身分等であります。

2016-2017年度の各クラブでは、検討するフォーラムが実施されましたが、クラブ細則変更に至ったクラブは無かったようであります。

(会員の増減)

クラブ名	2016年7月1日 会員数	2017年5月末 会員数
前橋 RC	118名	118名
前橋西 RC	56名	59名
前橋東 RC	60名	58名
前橋北 RC	69名	73名
前橋南 RC	32名	40名
前橋中央 RC	28名	28名
	計 363名	計 376名

(クラブ状況)

- 前橋 RC 地区のリーディングクラブらしく、落ち着いていて重厚さを感じられる。しかし、出席率の低さは？ ベテランと若い人のすみわけが上手く出来ている。
- 前橋西 RC 会員数が増加。会長の努力が素晴らしい。若干ベテラン会員が他クラブと比べ多い。
- 前橋東 RC 創立40周年を迎えた。退会者が止まらない。IMのホスト等で会員間の結束が出来たように見える。
- 前橋北 RC 創立35周年を迎えた。会員数の増加が顕著である。
- 前橋南 RC 地区内トップの出席率NO1を誇る。会員間のコミュニケーションが素晴らしい。
- 前橋中央 RC 会員増強が上手く行われていないのが悩みとのこと。雰囲気は良い。

第2分区 A ガバナー補佐 阿左美 博 (桐生西)

☆クラブ訪問履歴

RC名	初例会	G補佐訪問	公式訪問	IM	御礼訪問
桐生	7月4日(月)	10月24日(月)	11月7日(月)	3月5日(日)	4月10日(月)
桐生南	7月6日(水)	10月19日(水)	11月2日(水)	3月5日(日)	4月12日(水)
桐生中央	7月7日(木)	10月27日(木)	11月10日(木)	3月5日(日)	4月13日(木)
桐生赤城	7月5日(火)	10月18日(火)	11月1日(火)	3月5日(日)	3月21日(火)
桐生西	7月1日(金)	10月21日(金)	11月4日(金)	3月5日(日)	3月17日(金)

☆桐生 5 RC 会長幹事会に出席

5/27(前年度から引継)、7/11、9/12、11/14、1/16、3/13、5/15(次年度へ引継)

☆地区行事等の出席

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| 4/17(日) ガバナー補佐・委員長合同会議 | 5/22(日) 地区研修・協議会 |
| 6/4(土) 規定審議会検討委員会およびガバナー補佐会議、会員増強セミナー | |
| 7/9(土) インターアクト合同会議 | 8/20(土) ロータリー財団セミナー |
| 8/27(土) 会員組織・女性ネットワーク合同委員会 | 9/3(土) 米山奨学セミナー |
| 11/12(土) ロータリー財団補助金管理セミナー | 11/25(金) 第1分区 IM |
| 1/28(土) 会員組織・女性ネットワーク合同委員会 | 2/11(土) ローターアクト年次大会 |
| 2/20(月) ガバナー補佐の集い | 3/18(土) 前橋東 RC 創立 40 周年記念式典 |
| 4/11(火) 地区大会記念チャリティゴルフ大会 | |
| 4/15(土) 地区指導者育成セミナー及び RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 | |
| 5/27(土) 桐生赤城 RC 創立 20 周年記念式典 | 6/17(土) 新現地区役員合同連絡会議 |

☆第2分区 A 各クラブの状況

当分区内では IM の他、10月10日(祝・月)に合同チャリティゴルフコンペを開催、翌11日(火)には合同夜間例会を開催し、分区内の親睦を図った。(チャリティ寄付金を桐生市社会福祉協議会へ寄贈)また、今年度の事業として7/15(土)に桐生 5RC 合同群馬大学理工学部留学生交流会実施予定。

- ◇桐生 RC 会員数 67→63(-4) ポリオ寄付のみ目標額達成、年次寄付、米山寄付未達成
総評：地区や分区を代表する歴史あるクラブ由、充実した運営を行っている。
- ◇桐生南 RC 会員数 25→24(-1) R 財団年次寄付、ポリオ寄付、米山寄付、全て目標額未達成
総評：会員数が少ない為、本来のクラブ運営が出来ず、次次年度桐生中央 RC と合併を模索中
- ◇桐生西 RC 会員数 61→59(-2) R 財団および米山の数値目標全て達成
総評：会員は減少したが、クラブ運営も奉仕活動共に充実している。
- ◇桐生中央 RC 会員数 22→21(-1) R 財団年次寄付、ポリオ寄付目標額未達成、米山は達成
総評：会員数が少ない為、本来のクラブ運営が出来ず親睦クラブと化する。
- ◇桐生赤城 RC 会員数 44→42(-2) R 財団年次寄付、ポリオ寄付、米山寄付、全て目標額未達成
総評：若い会員や女性会員が多く活動的なクラブで将来を期待する。

第2分区Bガバナー補佐 赤堀 賢二 (伊勢崎東)

H27年10月に下田ガバナー補佐より書類送付の連絡を受け、11/21の「第1回ガバナー補佐会議」にてその役割と責務を教示されて以降、H28年6月末までに「ガバナー補佐・委員長予定者合同会議」「地区研修セミナー」「会長エレクト・次年度幹事研修セミナー」「IM(伊勢崎南RCホスト)」に参加しました。5/17「伊勢崎5RC合同例会」では次年度ガバナー補佐としてRIテーマ「人類に奉仕するロータリー」、地区スローガン「点から面へさらに世界へー広げよう<友情と奉仕>の和・輪ー」、さらに地区目標・数値目標の達成、ガバナー公式訪問、IM等への協力をお願い致しました。

5/22「地区研修・協議会」では、会員増強委員会へ伊勢崎RC・柳井君と伊勢崎東RC・中西君、女性ネットワーク委員会へは伊勢崎中央RC・高橋淳子君に発表を依頼しました。6月に向け「規定審議立法案検討委員会」「ガバナー補佐会議」「会員増強セミナー」「現新地区役員合同連絡会議」と活動を重ねました。

7月以降は公式訪問やIMに向けての各クラブ訪問、8月には「R財団セミナー」「会員組織強化・女性ネットワーク合同会議」「青少年交換学生報告会・歓迎会」「米山記念奨学セミナー」、9/30ガバナー補佐推薦書提出(伊勢崎RC・森田高史君)、10/20の群馬境RCから始まる公式訪問は10/27の伊勢崎中央RCで終わりましたが、公式訪問を含めての分区内各クラブ訪問は伊勢崎RC=7回、群馬境RC=5回、伊勢崎中央RC=6回、伊勢崎南RC=5回、伊勢崎東RC=毎回でした。その後「危機管理セミナー」を経て、11/5の「IM」開催では会員関係各位に感謝・感謝です。そして「R財団補助金管理セミナー」「青少年交換学生クリスマス会」「第17回ローターアクト年次大会」「地区大会決議案検討会」「RI会長代理歓迎会」、4/16「地区大会」ではクラブ紹介ワンフレーズ発表、そして各クラブの「周年記念式典・祝賀会」や「RI世界大会」参加、6/17「現新地区役員連絡会議」と続けました。

ガバナー補佐受諾以降、よくぞこんなに会議・活動があったと感心する次第です。心残りは、分区内クラブにおいてRIテーマ・地区スローガンでは誠実に成果をなしたが、会員増強・維持に専念し、R財団・米山記念奨学会への数値目標を達成できないクラブがあったことは残念でした。

会員増強に於いて第2分区Bでは2016年6月の239名から2017年5月には252名と全クラブで13名の増強となりましたが、クラブ間に差があります。分区内では均衡ある増強が望ましく、ガバナー補佐選出方法と共に伊勢崎5RC会長・幹事会に提案致しました。また、伊勢崎RC・森田会長、原・青少年奉仕チームリーダー提案の「青少年交換ホストファミリー協力会」が、各クラブ承認のもと予算を得て成立することに感謝しています。

年度末となる6月に豊川ガバナーの訃報が届きました。「共に歩んだ豊川年度を語る 7/10 第3回ガバナー補佐の集い」が急に寂しくなりましたが、多くの皆様に励まされ退任することができ、感謝申し上げます。ありがとう御座いました。

第3分区ガバナー補佐 市川 豊行 (高 崎)

クラブ訪問

クラブ訪問は、高崎 RC、高崎南 RC、高崎北 RC、高崎東 RC、高崎シンフォニー RC、高崎セントラル RC の6クラブを、2016年3回、2017年2回の計5回実施し、6クラブ会長幹事会に5回出席しました。

会員増強

高崎 RC は 117名で始まり、年度末は1名増強の118名です。
高崎南 RC は 65名で始まり、年度末は4名増強の69名です。
高崎北 RC は 68名で始まり、年度末は2名減少の66名です。
高崎東 RC は 38名で始まり、年度末は2名増強の40名です。
高崎シンフォニー RC は 42名で始まり、年度末は3名減少の39名です。
高崎セントラル RC は 37名で始まり、年度末は3名減少の34名です。
6クラブで7名増強（その内1名女性会員）し、8名の減少で、実質1名の減少となりました。

IM の実施

5月27日（土）、高崎 RC のホストで、高崎ビューホテルにて開催しました。田中久夫ガバナーエレクトの基調講演も頂き、109名の参加がありました。グループ毎にテーマに沿ったディスカッションを行い、その後、12卓の報告者から「ロータリーの未来を語ろう！」で実に活発な発表がありました。また、高崎 RC の山田由紀子会員のオペラで始まった懇親会は、大変有意義なものでした。

クラブの奉仕活動

高崎 RC は「いつも笑顔で奉仕の輪」のもとに、職場訪問で富士山麓の自衛隊火力演習の見学会を催した。
高崎南 RC は創立55周年に因み、記念コンサートおよび「小惑星探査機『はやぶさ』の軌跡」記念講演を実施した。
高崎北 RC は、来年創立50周年を迎えるクラブとして、5月に地区研修・協議会をホストとして開催した。
高崎東 RC は「魅力あるクラブ作りを実行する」をテーマに岩手県釜石東 RC と友好クラブ締結し、熊本地震に見舞金を独自で実施した。
高崎シンフォニー RC は「和を尊ぶ 共に響き合う」をテーマに、各種奉仕活動を実施した。
高崎セントラル RC は唯一の夜間例会クラブとして各クラブにメイクを働きかけ、親睦と友情を育んだ。

第 4 分区 A ガバナー補佐 星野 正義 (新田)

クラブ訪問

- 第 4 分区 A 各クラブ年度内 4 回の訪問及び 5 回の会長幹事会への参加
- 第 4 分区 A・B と合同での現・新会長幹事会の開催と参加

記念事業

- 3月 4日 大泉 R C 創立 50 周年記念式典参加
- 3月 5日 太田 R C 創立 60 周年記念ゴルフ大会参加
- 3月 25日 太田 R C 創立 60 周年記念式典参加
- 4月 8日 太田西 R C 創立 45 周年記念式典
- 4月 22日 太田中央 R C 創立 25 周年記念式典参加

太田 R C

創立 60 周年に当たり太田駅再開発に絡めての記念植樹の実施
記念ゴルフ大会の実施

太田西 R C

創立 45 周年に当たり会員増強に奮起した年度でした

太田南 R C

長期交換留学生受け入れクラブとして、非常に活発な活動の年度でした

新田 R C

分区内女性会員 0 クラブでしたが 1 名の入会者があり、次年度 1 名女性会員増強及び 2 名の会員増強となり活発な活動年でした

太田中央 R C

創立 25 周年に当たり太田駅再開発に絡めて、市民の健康管理向上に役立ててもらうために、温度計も寄贈事業の実行年度でした

第 4 分区では、A・B 合同での I M の開催を行っています。今年度は、第 4 区 B がホストになり、館林での開催となりました。また、10 クラブでのチャリティーゴルフ大会の開催を春・秋の 2 回開催し、集まった浄財を社会福祉団体に寄贈するなど、A・B 合同事業が多く相互の親睦を深めることができ、第 4 分区は大変充実している分区であると感じる 1 年でした。

第4分区 B ガバナー補佐 宮内 敦夫 (館 林)

平成 28 年 6 月 2 日、第 4 分区 A・B 現新会長幹事合同会議で RI 会長方針と RID ガバナー方針に基き、一年間の分区内の活動方針・諸行事を確認した。各クラブのご協力により役務を果たすことができたと思じます。

1. ガバナー補佐クラブ訪問 各クラブとも年 4 回訪問 (9, 10, 1, 5 月) 9 月の訪問時は、クラブ協議会を開いて頂いた。

2. ガバナー公式訪問 (クラブ協議会) 訪問 (10 月 4, 5, 6, 7, 12 日)

3. 第 4 分区内の年度中の各種行事

① 2016 年 8 月 26 日 第 4 分区 B 5 クラブ納涼例会 ホスト：館林西 RC ② 2016 年 10 月 19 日 10/19 第 4 分区 A・B 会長幹事会 ホスト：第 4 分区 A ③ 2016 年 11 月 8 日 第 4 分区 A・B 10 クラブ親睦ゴルフ大会 ホスト：館林西 RC ④ 2016 年 10 月 12 日 第 4 分区 B 5 クラブ合同ガバナー公式訪問歓迎晩さん会 ⑤ 2016 年 12 月 20 日 12/20 第 4 分区 B 会長幹事会 ホスト：館林 RC ⑥ 2017 年 5 月 9 日 第 4 分区 A・B 10 クラブ親睦ゴルフ大会 ホスト：太田南 RC ⑦ 2017 年 2 月 18 日 第 4 分区 B 5 クラブ合同例会⇒第 4 分区 ABIM 振替 ホスト：館林 RC ⑧ 2017 年 6 月 5 日 第 4 分区 AB10 クラブ現新会長・幹事会 ホスト：館林 RC ⑨ 2017 年 2 月 4 日 大泉 RC 創立 50 周年記念式典

4. 各クラブ活動内容

各クラブとも年度計画をほぼ達成した。例会は和気藹々し、クラブ活性化、会員増強、公共イメージ・アップに向けて発展的に活動した。会員増強は成果十分ではなかったが、次年度には増強できそうである。

1) 館林ロータリークラブ

①[会員の増減] 7 月 50 名、6 月 50 名 次年度 7 月 2 名の入会決定。 ②「館林まつり」に神輿でインターアクターと共に参加、第 64 回全国高等学校決勝弁論大会に審査員派遣、群馬県立館林特別支援学校各種行事に参加、市内清掃など恒例行事および支援を行う。セブポートセンターロータリークラブと姉妹提携調印がなる。クリスマス会・家族親睦旅行、グルメの会・ゴルフ大会も盛会であった。 ③地区補助金事業：「花のまちクイズ通りイルミネーション設置」事業。新聞・ケーブルテレビ報道。

2) 大泉ロータリークラブ

①[会員の増減] 7 月 33 名、6 月 33 名 2017 年 1 名入会予定。近年 40 名を目標とする。 ②社会奉仕活動としては、大泉町の緑道清掃、近隣中学生対象のサッカー大会 (参加者 350 名) 開催は継続的に行われ、地域への貢献大きく、公共イメージ・アップに繋がっている。クラブ内の親睦を図るために、観劇会、絵手紙教室、ゴルフ愛好者の「サンデークラブ」、家庭菜園を楽しむ「ファーマーズクラブ」がある。総じて、楽しいクラブである。 ③地区補助金事業：中学生対象の「聴導犬に触れ、知るスクール」事業。 ④創立 50 周年記念祝賀会を盛大に開催した。記念に 4 中学校にデジタル温湿度計寄贈。好評。広報誌、新聞掲載

3) 館林西ロータリークラブ

①[会員の増減] 7 月 22 名、6 月 21 名 一名逝去。次年度 2 名入会決定 ②恒例事業として、「おうら祭り」参加、グランドゴルフ大会支援、清掃活動、町の諸活動を支援し、地域に溶け込んでいる。 ③地区補助金事業：「一輪車で体力づくり」町との調整がつかず、中止する。

4) 館林東ロータリークラブ

①[会員の増減] 7 月 24 名、6 月 23 名 ②会員の高齢化、楽しい例会のための工夫をして若い会員増強に努めている。他クラブメイク、外部講師の卓話に成果あり。 ③地区補助金事業：館林女子高等学校アーチェリー部支援。新聞掲載

5) 館林ミレニアムロータリークラブ

①[会員の増減] 7 月 26 名、6 月 25 名 新会員 1 名、転勤 1 名、逝去 1 名 ②例会出席率が高い。会員の友情と団結力のある楽しいクラブ。奉仕活動としては、活動支援、清掃・野鳥の森下草刈りなど恒例。会員親睦活動、職場訪問には力を入れている。 ③地区補助金事業：「スポーツ熱中症対策プロジェクト」市民から大変感謝された事業であった。

第5分区ガバナー補佐 岸 権三郎 (渋川みどり)

クラブ訪問履歴

RC	第1回	第2回	IM	第3回	第4回
	表敬訪問 (事前訪問を兼ねる)	公式訪問	第5分区合同	御礼訪問	最終訪問
沼田中央	7月28日	9月1日	10月16日	11月17日	6月8日
中之条	7月12日	9月6日	//	11月8日	5月9日
草津	8月4日	9月8日	//	11月10日	5月11日
渋川みどり	7月5日	9月13日	//	11月22日	4月25日
渋川	7月7日	9月15日	//	11月24日	5月25日
沼田	8月9日	9月20日	//	11月15日	5月16日

クラブ訪問の内容

- 第1回 ガバナー公式訪問が直ぐなので、各クラブへの挨拶と事前訪問を兼ねる
RI 会長テーマと豊川ガバナーの地区運営方針・数値的目標等の説明
クラブ協議会を開催し、クラブの活動内容、目標数字を聞きガバナーへ報告
- 第2回 9月1日～20日、第5分区内6クラブへガバナー公式訪問への同行
豊川ガバナーの講話とクラブ協議会の実施 IM開催の案内
- IM 豊川ガバナー出席のもと10月16日 IM の開催
- 第3回 各クラブへ IM 出席の御礼訪問
- 第4回 各クラブへ地区大会参加の御礼と豊川ガバナーのお身体状況説明
各クラブの数値目標達成に向けての最後のお願いと一年間に渡るご協力への感謝を申し上げる

会員増強について (内女性会員数)

RC	2016-17年度 純増目標 (女性会員数)	2016年7月1日 会員数 (女性会員数)	2017年6月30日 会員数 (女性会員数)	増減比較
沼田中央	2名 (1名)	59名 (4名)	54名 (4名)	-5名
中之条	2名 (1名)	21名 (1名)	22名 (1名)	1名
草津	1名 (1名)	19名 (1名)	17名 (1名)	-2名
渋川みどり	5名 (2名)	38名 (2名)	38名 (2名)	0
渋川	2名 (1名)	58名 (5名)	62名 (5名)	4名
沼田	2名 (1名)	67名 (1名)	68名 (1名)	1名
第5分区計	14名 (7名)	262名 (14名)	261名 (14名)	1名減

各クラブに対しての印象他

創立60周年記念に出席できた渋川 RC、沼田 RC、沼田中央 RC は会員数も多く、奉仕活動も活発で、多少出席率が悪いクラブもありますが、私などがコメントするのはおこがましいような立派なクラブです。草津 RC は、ガバナーが心配していた地区補助金に未参加の3クラブの1つでしたが、今年度は 今井地区役員の御指導、御協力により無事に申請致しました。ガバナーもさぞお喜びの事と思います。松野前ガバナー補佐が、近くの四万温泉の方々の入会は？と懸念していた中之条 RC に待望の四万の旅館の若い会員が入会しました。少しは平均年齢が引き下げられます。自クラブである渋川みどり RC は、若い会員の出席率向上ともう少し元気が欲しい！

結びに、一年間大変お世話になり御指導頂いた豊川ガバナーのお身体が少しでも良くなりますように、心よりお祈りするとともに、市村地区幹事、横尾地区担当副幹事、ガバナー事務所入山こずえさん、佐藤由紀恵さん御協力とても感謝しております。そしてありがとうございました。

第 6 分区ガバナー補佐 大塚 慶甫 (藤岡北)

豊川一男ガバナーのスローガン《点から面へ さらに世界へ》～広げよう(友情と奉仕の)和・輪～に向かって、特に、「地区目標のロータリー財団 100 周年を祝おう」「ロータリー米山記念奨学会の理解を深め寄付目標を達成しよう」「IM を開催して、私達の未来を語ろう」「地区大会に参加しよう」を中心に第 6 分区の 8 クラブが活動を開始しました。
『ガバナー補佐の年間の計画・実行を報告します。』

《 クラブ訪問 》

第 1 回クラブ訪問 2016. 7. 5～8. 4

豊川一男ガバナーの紹介・補佐の自己紹介。本年度のガバナーズローガンの理解、協力をお願い。地区行事への参加お願い。会員増強について努力をお願い。まず退会者を出さないような対策を考えていただくようお願い。

第 2 回クラブ訪問 2016. 9. 1～10. 6

豊川ガバナー各クラブ公式訪問についてお願い。本年度より定款、細則の改訂について理解をするようお願い。ロータリー財団の 100 周年を祝い、また、米山奨学会への理解と協力をお願い。

第 3 回クラブ訪問 2016. 11. 15～12. 16

豊川ガバナー公式訪問に各クラブとお出迎え、ガバナーと各クラブとの話し合いに同席。

第 4 回クラブ訪問 2017. 3. 21～4. 27

インターシティーミーティング (IM) で協力に対して御礼。地区大会への参加をお願い。

第 5 回クラブ訪問 2017. 5. 10～6. 16

地区大会のご支援ご協力に対してガバナーよりの感謝を伝える。一年間の第 6 分区行事にご支援ご協力に対しての御礼

《 第 6 分区事業 》

会長幹事会の開催 2016. 9. 9 (金) 藤岡市 割烹松むら
豊川ガバナー 清パストガバナー 堀口パストガバナー補佐 参加

2840 地区ガバナー補佐研修会 2016. 9. 14 (水)～15 (木) 伊香保 岸権

豊川ガバナー

第 1 分区 佐藤信一 (前橋東)	第 2 分区 A 阿左美博 (桐生西)
第 2 分区 B 赤堀賢二 (伊勢崎東)	第 3 分区 市川豊行 (高崎)
第 4 分区 A 星野正義 (新田)	第 4 分区 B 宮内敦夫 (館林)
第 5 分区 岸権三郎 (渋川みどり)	第 6 分区 大塚慶甫 (藤岡北)

第 6 分区インターシティーミーティング (IM) 2017. 2. 26 (日)

メモリアルホールしんまち 及び かがや

豊川一男ガバナー 宮内敦夫ガバナーノミニー 堀口パストガバナー補佐

第 6 分区 8 クラブ全員 70 名

藤岡北 RC 女性友の会員 8 名

各地区役員会・研修会参加

地区大会 2017. 4. 16 (日) 前橋市 ベイシア文化ホール

第 6 分区各クラブ紹介ワンフレーズ

富岡クラブ 富岡製糸場と荒船風穴、歴史を今に紡ぐ。富岡ロータリークラブです。

藤岡クラブ 高山社と少年少女の歌声の輪で輝く。藤岡ロータリークラブです。

安中クラブ 会員拡大は今でしょう、を合言葉に会員拡大の。安中ロータリークラブです。

藤岡北クラブ 会長するなら、藤岡北ロータリークラブへ。藤岡北ロータリークラブです。

富岡中央クラブ 奉仕を通して地域と共に、いつも元気な。富岡中央ロータリークラブです。

碓氷安中クラブ 来年度 20 周年を迎え、大人のクラブの仲間入りを致します。碓氷安中ロータリークラブです。

藤岡南クラブ 豊川ガバナー輩出の会員 18 名の小さなクラブ。藤岡南ロータリークラブです。

富岡かぶらクラブ 社会貢献を通して素晴らしい仲間づくりを目指します。富岡かぶらロータリークラブです。

終わりに、豊川ガバナー 堀口パストガバナー補佐 地区役員 各地区ガバナー補佐の皆様の御指導に対して感謝・御礼を申し上げ報告といたします。

地区研修委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 (地区研修リーダー) パストガバナー 本田 博己 (前 橋)
副委員長 直前ガバナー 生方 彰 (沼田中央)
委員 ガバナーエレクト 田中 久夫 (高 崎)
委員 ガバナーノミニー 宮内 敦夫 (館 林)
委員 松島 宏明 (桐 生)
委員 板垣 忍 (前 橋)
委員 佐藤 修 (高崎南)
地区担当副幹事 古賀 直樹 (安中)、古市 和男 (藤岡南)

豊川ガバナー年度の地区研修委員会は、ガバナーエレクトおよびガバナーの期間を通じて、豊川ガバナーを補佐して、クラブや地区指導者の研修を企画・実施することに努めました。

1) 豊川ガバナーエレクトと協力し、以下の研修ニーズに対応しました。

a) PETS b) 地区研修・協議会 c) 地区チーム研修セミナー c) ガバナー補佐・ガバナースタッフの研修

2) 豊川ガバナーと協力し、以下の研修ニーズに対応しました。

a) 地区指導者育成セミナー b) RLI 研修セミナー (ディスカッション・リーダー研修会、パート1～パート3) c) 地区新会員セミナー

また、クラブ活性化につながる「クラブレベルの指導力開発」も地区研修委員会の重要な使命です。各クラブに配置された「クラブ研修リーダー」を支援し、クラブ研修のテキスト『ロータリーの基本』の提供や研修講師の派遣も行いましたが、クラブレベルのロータリー研修 (特に新会員・女性会員向けの) を更に奨励・推進することが今後の課題です。

RLI 推進委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 (地区研修リーダー) パストガバナー 本田 博己 (前 橋)
委員長 (地区研修リーダー) パストガバナー 本田 博己 (前 橋)
委員 小池 敏郎 (館 林)
委員 田部井敏弘 (太 田)
地区担当副幹事 古賀 直樹 (安中)、古市 和男 (藤岡南)

RLI (ロータリー・リーダーシップ研究会) 推進委員会は、RLI セミナーの事務局として、セミナーの企画・運営、ディスカッションリーダーの養成、2840 地区版カリキュラムの作成、を行いました。RLI セミナーは、本年度で6期目。ディスカッション・リーダー研修会、パート1、パート2、パート3のセミナー、田中ガバナー年度の PETS での卒後コースを終了しました。



危機管理委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 森田 均 (渋 川)
副委員長 松倉 紘洋 (富 岡)
委員 関根 敏夫 (安 中)
委員 竹澤 泰子 (国際交流協会理事)

1. 危機管理委員会は、その一般的な提言や研修はさておき、委員会として多くの活動は休止していることが望ましい委員会である。
これまで当委員会は、発足以来、セクシャルハラスメント事案に関して会議を一度持ったほか、幸いその余の活動の必要性を認めたことはなかった。
しかし2011年3月11日に発生した東日本大震災に関連し、同月15日には、急遽、当委員会を開催し、交換留学生の早期帰国の問題を検討した。
その結果、これを推進することを決議し、速やかに対応したことがある。
2. ところで本年度は、豊川ガバナーの危機管理を重視する活動方針により、2016年11月3日、当地区で初めての危機管理セミナーが開催された。
ここでは、140名の会員に対し、小職による「ロータリー及びロータリアンの危機管理」と題する、各般にわたる実例を交えた講演が行われた。
3. 当委員会としては、所謂72時間ルール（危機管理委員会所管事項が生じた場合、72時間以内に国際ロータリーに事案を報告しなければならないルール）をふまえ、今後とも有事の折には、早急かつ適切な対応がとれるよう心掛けたい。

規定審議会立法案検討委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 曾我 隆一 (前 橋)
副委員長 本田 博己 (前 橋)
委員 各ガバナー補佐
担当副幹事 伊藤 好則 (富 岡)

前年生方年度の 2016 年 4 月にシカゴで開かれた規定審議会にて、ロータリーは大きな組織規定の改訂を行いました。

詳細は既に 2016 年 5 月 22 日開催の地区研修・協議会にて解説させていただきましたが、ポイントは「クラブ運営の柔軟性・会員身分の取扱い」について、クラブの自主性を鑑みて、クラブ細則にて大幅な柔軟性が導入できることになりましたが、現在、当地区内には具体的な適用事例は発生していませんが、クラブによっては、検討中との声もあり、また、分区単位の会合では、分区内のクラブがサポートして柔軟性を取り入れた新クラブの立ち上げを立ち上げたいとの動きがみられます。

次世代を担う若者、ロータリー学友、ローターアクター等を会員にした新クラブは RI が最も期待を寄せている点で、結果として、各地区、国、RI レベルにおいて会員増強に結び付きます。

昨年の規定審議会で変更りましたが、決議案（理事会への意見表明、推奨する立法案）は 2017 年より毎年オンラインで審議されることになり、既に 2017 年 6 月末締め切りに合わせ 2840 地区からは 5 件を提出しています。

3年に一度シカゴでの規定審議会は 2019 年への地区申請締め切りが本年 8 月末となって、地区内クラブへ案内をしています。

ロータリーの組織規定は自ら意思で改定できるのが規定審議会ですので、各クラブのリーダーの方々を中心に立法案提出へ是非挑戦して頂けたら、ロータリーライフがもっと楽しくなることと思います。

地区戦略計画委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

アドバイザー：清 章司 (藤 岡)
アドバイザー：本田 博己 (前 橋)
委員長：竹内 正幸 (太 田)
副委員長：生方 彰 (沼田中央)
委員：豊川 一男 (藤岡南)
委員：田中 久夫 (高 崎)
委員：宮内 敦夫 (館 林)
担当副幹事：伊藤 好則 (富 岡)

2020 年、そしてその先の未来へ ～地区・クラブの戦略目標～ 「魅力あるクラブ」をつくろう

地区の役割は、「魅力あるクラブ」づくりをお手伝いすることです。

私たちの 2840 地区は、2000 年に第 2560 地区（新潟・群馬）を分割して、日本において最も新しい地区として誕生しました。来る 2020 年には記念すべき 20 周年を迎えます。また、そのときは日本のロータリーの生誕 100 周年でもあります。

今こそ、来る 20 周年を目指したビジョン、そして 30 年、50 年、100 年先に地区および各クラブが明るい未来を迎えるための礎となるようなビジョンを作るべきときだと思います。

下記 8 項目が、4 月 16 日の地区大会に於いて決議をされました。

- 1 明るい未来のために素晴らしいビジョンを作ろう
- 2 仲間を増やそう
- 3 ロータリーを楽しもう そして仲間と語ろう
- 4 ロータリーを知ろう
- 5 ロータリーを知らせよう
- 6 奉仕活動の意義を再確認し、充実させよう
- 7 私たちの寄付金を活用し、社会のために良いことをしよう
- 8 寄付の大切さを知り、各自の寄付額を充実させよう

2020 年までに各クラブは自らが持つ素晴らしい歴史にさらに磨きをかけて、より魅力的なクラブへと発展していかなければなりません。生き生きとした誰もが楽しいクラブ、社会に認知されたクラブ、会員であることに誇りを持てるクラブ、多くの仲間と共にこの目標を実現しましょう。地区はその応援をします。

私たち 46 クラブは一つです。

ロータリーの友地区委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

地区代表・委員長 板垣 忍 (前 橋)
委員 小野 幸広 (沼田中央)
委員 市村 信也 (藤岡南)

2016年5月16日港区芝の『メルパルク東京』で地区代表委員のオリエンテーションが開催され、いよいよ活動開始となりました。

まず、最初に「友事務所」の事業計画と年間15回の会議計画（私達地区代表の会議は、そのうちの4回だけです）、予算（赤字予算で驚きました）の説明がありました。

これに続き、「ロータリーの友委員会」の組織の説明（「常任委員会」「理事会」が毎月開催され、この監督の下「法人友事務所」が実務を執行します。つまり、「ロータリーの友」に関する一切は、「友委員会」の直接的監督を受けています）と、方針発表があり、私達地区代表委員の役割についての説明がありました。

*ロータリーの友地区代表委員の任務

ガバナーと連携して「ロータリーの友」に関する情報を共有し、併せて地区内各クラブ並びに会員へ情報発信をし、理解と協力を求めることが重要な任務となります。

また、毎月発行の「ロータリーの友」について、意見や感想をレポートとして「友編集部」に提出し、他の出版物に対して建設的な提言を行うこととなっています。

*次年度へお願いと感想

毎月レポート提出しなくちゃなんないって結構負担感あるよね、くらいのことしか感じていませんでした。つまり、友の地区代表ってということに対する認識がほとんど無いまま今年の5月を迎えました。中旬に行われたオリエンテーションで、『友』は私たちも参加して作り上げているという説明を受けて、「えっ、そ~なの?!」とビックリしました。

『友』の組織や編集方針、そして編集職員の皆さんの真摯な態度に触れ、それまで何となく眺めていた（読んでいたというより眺めていた）『友』に対する景色が全く変わりました。私たちは『友』について知らなかった。何もわかっていなかったということがよく解りました。友情報をガバナーと共有し、時にはガバナーの気持ちを伝えることが出来るのは私達が適任者のはずです。そのことをまず感じてほしいと思います。

レポートは必ず提出しましょう。それから始まります。私はレポートを書くのが精いっぱい、ガバナーとのコミュニケーションがうまく取れていたか反省しきりですが、次期地区代表には、私以上に取り組んでほしいと祈るばかりです。それと、年4回ある会議にはぜひ出席してください。『友』に係わる方々の心を感じてください。

地区委員会の方々と日程が合わないとの理由で、引き継ぎの委員会が開催できなかったことが心残りです。最後に、念願でした高崎クラブへの「クラブを訪ねて」が実現して8月号に掲載される予定となったことは、心からの無上の喜びでした。

ロータリー財団委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

アドバイザー 牛久保哲男 (伊勢崎)

委員長 伊能 富雄 (伊勢崎)

2016-2017 年度は、ロータリー財団 100 周年

ロータリー財団は、国際理解、親善、世界平和を推進するクラブと地区の支援に於いて大きな成果を収めてきました。「世界中のロータリアンと共に、クラブと地区が 100 周年を祝い、記念すべきプロジェクトを実施しましょう」と掲げてきました。

ロータリー財団の優先項目

1. クラブ、地区で「ロータリー財団 100 周年」を祝い、記念事業を実施する
2. 国際ロータリー、ロータリー財団が掲げる最大のテーマ、「ポリオを撲滅する」
3. ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる
4. 財団の補助金と「6 つの重点分野」を通じてロータリアンの人道的奉仕の質と影響を高める

● 年次寄付に対して

会員数 2,058 名に対し、46 クラブ総額 321,147.03 ドルでした。1 人当たり (150 ドル以上の地区目標に対し) 156.05 ドルの実績となりました。しかし、目標達成クラブは 46 クラブ中 23 クラブ、未達成が 23 クラブで、達成クラブ数 50% でした。また、ロータリークラブセントラルに目標未設定のクラブは 11 クラブ (2017.7.3 現在) となっております。

● 地区補助金に対して

2015-2016 年 (生方 G 年度) 申請分 43 クラブ 41 プロジェクトが実施されました。

2016-2017 年度は、46 クラブ、全てのクラブが申請承認され、2840 地区は、46 クラブ全てのクラブが地区補助金プロジェクトに参加、実施することになりました。

● グローバル補助金に対して

2016-2017 年度内のグローバル補助金は 5 クラブからの申請、5 クラブのそれぞれのプロジェクトが地区承認を受け、手続きを進めております。内容は、VTT (職業研修チーム)

前橋 RC、沼田 RC の 2 件、人道的分野として伊勢崎 RC、桐生西 RC の 2 件、GG 奨学金

前橋東 RC の 1 件、総計 5 件の DDF (地区活動資金) 申請額が 87,690 ドルとなっております。

● ポリオ・プラスに対して

2017 年 4 月 16 日、地区大会においてポリオ撲滅キャンペーン及び、募金活動の実施、2016-2017 年度は「ロータリー財団 100 周年」記念事業の一環としてポリオ・プラス基金に 50,000 ドルの寄贈をいたしました。

● ロータリー財団セミナー等の開催

1. 2840 地区、ロータリー財団セミナー 2016 年 8 月 20 日 (土) 参加数 231 名 (伊勢崎プリオパレスにて)

2. 2840 地区、補助金管理セミナー 2016 年 11 月 12 日 (土) 参加数 174 名 (伊勢崎プリオパレスにて) 開催いたしました。

* (補助金管理セミナーに出席しない場合は、両補助金の申請が出来ない事になっていますが全てのクラブから出席いただきました。)

● 「ロータリー財団 100 周年記念特別実行委員会」を設置

牛久保哲男 R 財団アドバイザーに 100 周年特別実行委員長にお願いし、2017 年 4 月 16 日 (日) 2840 地区、地区大会に合わせ、クラブ、全会員からの協力を求め、「ロータリー財団 100 周年記念キャンペーン」を実施、地区内全会員 (2100 名) に対し、車両用キャンペーンマグネットシートを配布、クラブには、全クラブに「のぼり旗」各 2 本、FM ぐんまにて、30 秒インフォマーシャルを 20 回放送、上毛新聞には、カラー 1 頁 (全 15 段) を掲載いたしました。「ポリオ撲滅キャンペーン」と、2840 地区が取り組んでいる奉仕活動、会員増強に繋げる公共イメージ「ロータリー財団 100 周年」の活動として「ロータリー財団 100 周年記念キャンペーン」広報活動と、「上毛新聞愛の募金」に「記念事業として金一封を贈呈」、地区全体としての事業を実施することができました。

資金推進、年次寄付、恒久基金・大口寄付委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 町田 久 (渋川)
委員 金井 修 (前橋西)

ロータリー財団は、2017 年に 100 周年を迎えました。

当地区では、財団 100 周年実行委員会を立ち上げて、企画・立案を行ってまいりました。

その結果、地区内全会員からの浄財のご協力を得ながら、車両に貼れる”ポリオ撲滅”のマグネットシールの配布を全会員に行いました。

また、キャンペーンのノボリ旗を作成し、FM ぐんまを利用してのキャンペーン CM 放送を、地区大会の前後の 1 ヶ月に亘って放送しました。

ロータリーが行っている良いことの、外部への PR は、中々思うようにいかない面もあるのですが、今回の一連のキャンペーンで少しでも宣伝効果が上がってくれたらと、念願しております。

年次寄付につきましては、本年も昨年と同様に、1 人当たり 150 ドルをお願いしてまいりました。

お陰様で、その目標額に達したクラブ、残念ながら少し足りなかったクラブ等々がありましたが、全体として立派な成果を上げることが出来ました。

ご協力に感謝申し上げます。

大口寄付者につきましては、地区で 3 名以上の目標を掲げさせて頂きましたが、4 名のご協力を頂き、重ねて御礼申し上げます。

世の中の経済状況は、決して政府の言うような順風満帆ではないと思いますが、今後も、各会員の皆様方が、ロータリーの基本に戻っての、活動の為のご協力のお願いを申し上げて、今年度の報告に代えさせていただきます。

有り難うございました。

補助金委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長： 下井田秀一 (桐生西)

I. 地区補助金

ロータリー財団の補助金が現行制度となって5年目となった本年度、地区補助金につきましては地区内全クラブ46クラブから46件の申請書（総事業費1,943万円）が提出され、審査を終了いたしました。

これで、本制度発足以来5年目にして遂に目標としてまいりました地区内全クラブ参加が実現いたしました。ロータリー財団100周年に相応しい実績を残すことが出来ました。あらためてご理解とご協力をいただいた皆様に心より感謝いたします。今後は、この全クラブ参加が引き続き継続することとさらなる内容の充実を願うところであります。

また、当年度実施された43クラブによる41件の地区補助金事業（総事業額1,695万円）すべてが完了することができました。

II. グローバル補助金

前年度（生方年度）の33,600ドルに対して87,700ドルのグローバル補助金承認を行い過去最高実績となりました。

特に5件の内2件がV T T（職業研修チーム派遣及び受け入れ）として新しいプロジェクト実施が決まり、グローバル補助金の使途としてより幅の広いものとなりました。また、前年と同様にG補助金奨学生1名が決定致しております。

100年を超えるR財団に相応しい幅広いプロジェクトが今後も継続いたします様ご理解とご協力をお願い致します。

以上をもちまして、補助金委員会の報告とさせていただきます。

1年間ありがとうございました。

地区補助金委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長	山田 利和	(富岡かぶら)
副委員長	今井 幸吉	(沼 田)
委員	石井 英智	(前橋南)
委員	村田 勝俊	(桐 生)
委員	原 邦昭	(群馬境)
委員	嶋方 智之	(高 崎)
委員	石川 好男	(太 田)
委員	毛塚 宏	(館 林)
委員	静 朋人	(碓氷安中)

1、地区補助金（本年度計画・次年度実施）

(1) 申請件数	46件 (申請クラブ数 46クラブ)
(2) 申請総額	9,449,664円
補助金決定総額	9,443,120円※

※「地区補助金予算を余さず使い切る」という方針で各申請書に対して、各クラブの2014～15年度1人当り年次寄付実績を考慮に入れながら一定の計算式で算出しました。

別紙 2017～18年度地区補助金申請一覧をご参照下さい。

5年目となる本年度は、過去4年の実績をさらに上まわって、各クラブに一層利用してもらえよう活動して参り、全46クラブから申請書の提出をしていただき、すべての申請書が承認されました。

2、委員会（審査会）活動経過

開催日	内容	場所	備考
2016年 8月 6日	第1回地区補助金委員会	豊川ガバナー事務所	財団セミナー並びに地区補助金申請書及び報告書審査の勉強会
8月20日	ロータリー財団セミナー	伊勢崎プリオパレス	報告の実務・計画立案の注意点について説明
10月22日	第2回地区補助金委員会	豊川ガバナー事務所	補助金管理セミナー並びに地区補助金申請書及び報告書審査の勉強会
11月12日	補助金管理セミナー	伊勢崎プリオパレス	申請書記入の注意点について説明
2017年 1月21日	第1回地区補助金予備審査会	伊勢崎プリオパレス	
3月25日	第2回地区補助金予備審査会	伊勢崎プリオパレス	
4月22日	地区補助金最終審査会	伊勢崎プリオパレス	2017-18年度実施分の申請を承認

2017-18実施年度(2016-17計画年度) 地区補助金申請一覧表 (46クラブ申請・46事業)

2017年4月22日現在

区分	NO.	クラブ	実施日	事業名	14-15年 年次寄付クラブ総額/\$	14-15年1人当たりの年次寄付額/\$	貢献度	補正貢献度0.8~1.2	クラブ拠出金円	補助金申請額円	その他円	事業額円	補正貢献度勘案申請額円	補助金算出額円	補正額\$	補助金原案\$	決定補助金\$	地区補助金委員会担当者
第1分区	1	前橋	2017.9.20~2017.9.30	障害福祉サービス事業所 プラナ支援事業	24,705.67	214.83	1.35	1.20	362,596	360,000		722,596	432,000	431,116		3,717		石井英智
	2	前橋西	2017.4.1~2018.3.31	前橋西ロータリークラブ育英奨学金	8,092.00	155.62	0.98	0.98	724,860	360,000		1,084,860	352,800	352,078		3,035		
	3	前橋東	2017.9.1~2017.10.30	みんなが集う、創造と憩いの空間	19,621.42	288.55	1.81	1.20	292,120	290,000		582,120	348,000	347,288		2,994		
	4	前橋北	2017.7.1~2018.6.30	たんぼぼ学園 木製遊具設置プロジェクト	6,499.97	92.86	0.58	0.80	380,240	379,000		759,240	303,200	302,580		2,608		
	5	前橋南	2017.7.1~2017.7.31	「自転車の街 前橋」を支援するサイクルスタンド寄贈プロジェクト	2,712.00	82.18	0.52	0.80	229,500	229,500		459,000	183,600	183,224		1,580		
	6	前橋中央	2017.7.20~2017.11.30	児童養護施設地公園への支援事業	4,050.85	144.67	0.91	0.91	126,956	126,000		252,956	114,660	114,425		986		
第2分区A	7	桐生	2017.10.1~2017.11.30	未来ある子供たちと母への子育て支援	10,500.00	177.97	1.12	1.12	105,055	105,055		210,110	117,662	117,421		1,012		村田勝俊
	8	桐生南	2017.10.10~2017.11.1	桐生市吾妻公園花壇作成・チューリップ植付事業	3,600.00	150.00	0.94	0.94	86,400	86,400		172,800	81,216	81,050		699		
	9	桐生西	2017.7.1~2018.1.31	チアフル&バステル支援事業	8,511.00	160.58	1.01	1.01	170,516	150,000		320,516	151,500	151,190		1,303		
	10	桐生中央	2017.8.1~2017.10.31	NPO法人つばさ思いやり事業への支援	4,581.18	176.20	1.11	1.11	104,376	103,000		207,376	114,330	114,096		984		
	11	桐生赤城	2017.7.1~2018.6.30	桐生赤城RC奨学金	4,026.04	91.50	0.57	0.80	317,280	300,000		617,280	240,000	239,509		2,065		
第2分区B	12	伊勢崎	2017.7.1~2017.11.30	東日本大震災被災地支援 福島県児童養護施設へ掃除機、布団クリーナー、空気清浄器、除雪機支援事業	22,770.00	311.92	1.96	1.20	414,900	414,900		829,800	497,880	496,861		4,283		原邦昭
	13	群馬境	2017.7.1~2017.9.1	中澤カフェ(障害者支援施設)への音響寄贈プロジェクト	4,050.00	150.00	0.94	0.94	193,769	193,769		387,538	182,143	181,770		1,567		
	14	伊勢崎中央	2017.7.1~2018.1.31	(福)榎の木 障害児通所支援施設環境整備事業	9,310.00	125.81	0.79	0.80	234,934	220,000		454,934	176,000	175,640		1,514		
	15	伊勢崎南	2017.8.1~2017.12.31	特定非営利活動法人わんぱくひろば支援及び交流事業	2,327.89	110.85	0.70	0.80	98,820	98,820		197,640	79,056	78,894		680		
16	伊勢崎東	2017.9.1~2017.11.30	公共病院に車椅子寄付	2,869.16	102.47	0.64	0.80	199,975	199,975		399,950	159,980	159,653		1,376			
第3分区	17	高崎	1905年7月9日	高崎マーチングフェスティバル講習会開催支援	14,262.00	222.84	1.40	1.20	309,508	290,000		599,508	348,000	347,288		2,994		嶋方智之
	18	高崎南	2017.9~2017.11	(福)玉泉会「愛隣保育園」への絵本(ビッグブック)寄贈	4,754.74	76.69	0.48	0.80	108,749	107,885		216,634	86,308	86,131		743		
	19	高崎北	2017.7.1~2018.3.31(上記の中の1日)	NPO法人ロシナンテス 川原尚行氏による講演及びロシナンテスへの活動支援	12,079.00	170.13	1.07	1.07	525,916	500,000		1,025,916	535,000	533,905		4,603		
	20	高崎東	2017.8.5~2017.8.6	むつみ幼稚園 和太鼓演奏支援事業	5,993.27	171.24	1.08	1.08	205,470	205,470		410,940	221,908	221,454		1,909		
	21	高崎シンフォニー	2017.11.11	上野三碑「世界の記憶」登録に向けた支援活動	6,335.59	162.45	1.02	1.02	228,007	228,007		456,014	232,567	232,091		2,001		
	22	高崎セントラル	2017.11.25	児童養護施設「希望館・八幡の家」への支援	2,150.00	59.72	0.38	0.80	200,433	200,433		400,865	160,346	160,018		1,379		
第4分区A	23	太田	2017.9.1~2018.4.30	ロータリーの森整備事業	11,420.91	165.52	1.04	1.04	310,300	300,000		610,300	312,000	311,362		2,684		石川好男
	24	太田西	2018.4.	障害児者 和太鼓の会とどんどんクラブチャリティーショー	2,340.00	146.25	0.92	0.92	100,000	100,000		200,000	92,000	91,812		791		
	25	太田南	2017.3月上旬から下旬	ぐんま国際アカデミー「サイエンスフェア」への支援事業	5,703.42	150.09	0.94	0.94	207,162	200,000		407,162	188,000	187,615		1,617		
	26	新田	2017.5.7	地域主催祭(鎗矢祭)前日の会場周辺清掃作業と清掃用具寄贈	2,700.00	158.82	1.00	1.00	25,360	24,500		49,860	24,500	24,500		211		
27	太田中央	2017.9.23	3県(群馬・埼玉・栃木)小学生バレーボール交流特別大会	7,650.00	166.30	1.04	1.04	420,000	420,000		840,000	436,800	435,906		3,758			
第4分区B	28	館林	2017.7.15	館林市子ども会育成団体連絡協議会イベントテント支援事業	10,573.00	245.88	1.54	1.20	98,172	98,172		196,344	117,806	117,565		1,013		毛塚宏
	29	大泉	2016.8.26~2016.8.27	大泉ロータリークラブ杯サッカー大会	6,500.00	224.14	1.41	1.20	122,789	100,000		222,789	120,000	119,754		1,032		
	30	館林西	2017.7.1~2017.11.30	一輪車で体づくり	3,190.00	177.22	1.11	1.11	113,256	110,000		223,256	122,100	121,850		1,050		
	31	館林東	2018.7.1~2018.10.5	多々良沼公園遊歩道ソーラー時計寄贈プロジェクト	4,101.70	151.91	0.95	0.95	339,120	339,120		678,240	322,164	321,505		2,772		
32	館林ミレニアム	2017.10.26	保険福祉センター支援事業	4,050.00	162.00	1.02	1.02	103,000	103,000		206,000	105,060	104,845		904			
第5分区	33	渋川	2018.7.1~2018.12.31	マナーキッズプロジェクト	13,580.82	266.29	1.67	1.20	275,909	275,909		551,818	331,091	330,413		2,848		今井幸吉
	34	沼田	2017.8.11~2017.8.12	沼田ロータリーカップバスケットボールフェスティバル支援事業	8,916.60	146.17	0.92	0.92	499,273	499,273		998,546	459,331	458,391		3,952		
	35	草津	2019.3.15~2019.4.10	小学校1年生入学支援事業	0.00	0.00	0.00	0.80	26,000	26,000		52,000	26,000	26,000		224		
	36	中之条	2017.7.20~2017.8.31	親子で楽しむ「ねんど教室」	3,500.00	159.09	1.00	1.00	110,720	109,000		219,720	109,000	108,777		938		
	37	沼田中央	2017.7.1~2018.6.30	クラブ育英奨学生支援事業	18,497.74	355.73	2.24	1.20	363,184	362,000		725,184	434,400	433,511		3,737		
	38	渋川みどり	1905年7月10日	「渋川みどりロータリー文庫」の開設	4,976.31	113.10	0.71	0.80	270,536	260,000		530,536	208,000	207,574		1,789		
第6分区	39	富岡	2017.8.1~2018.5.31	特別支援学校の児童・生徒の放課後等デイサービス施設くろーばー支援事業	9,500.00	197.92	1.24	1.20	81,540	81,000		162,540	97,200	97,001		836		静朋人
	40	藤岡	2017.7.1~2017.10.31	シルバー安心安全生活支援事業	7,600.02	168.89	1.06	1.06	199,120	199,120		398,240	211,067	210,635		1,816		
	41	安中	2017.7.1~2017.9.30	安中市内保育園・幼稚園への木製テーブル・ベンチの設置事業	5,550.58	173.46	1.09	1.09	126,360	126,360		252,720	137,732	137,451		1,185		
	42	藤岡北	2017.7.1~2018.3.31	「玉村八幡宮」(旧国宝・重要文化財)の文化遺産としての価値を周知するパンフレット作成事業	1,711.56	106.97	0.67	0.80	102,004	102,003		204,007	81,602	81,435		702		
	43	富岡中央	2018.3.10~2018.6.25	子供達の食育プロジェクト	5,496.46	137.41	0.86	0.86	85,860	80,000		165,860	68,800	68,659		592		
	44	碓氷安中	2017.8.1~2018.1.31	碓氷の森公園もみじ植樹事業	1,000.00	71.43	0.45	0.80	90,953	90,953		181,906	72,762	72,614		626		
	45	藤岡南	2017.10.1	藤岡市庚申山公園内ミニ動物園モルモット小屋設置事業	2,700.00	142.11	0.89	0.89	149,996	149,996		299,992	133,496	133,223		1,148		
	46	富岡かぶら	2017.10.1~2017.11.30	上州富岡駅南玉時計設置事業	3,514.46	135.17	0.85	0.85	145,044	145,044		290,088	123,287	123,035		1,061		
平均					7,142.94	159.15		合計	9,986,038	9,449,664		19,435,701	9,452,356	9,433,120		81,320		

補助金総予算 = 9,528,975.44円

4月ロータリーレート 1\$=116円で計算

I. 補助金予算額 81,320(85,320-4,000)ドル×116円=9,433,120

II. 寄付貢献度 : $\frac{\text{該当クラブの1人当たりの年次寄付額}(\$)}{\text{1人当たり年次寄付の地区平均額}(\$)}$ $\left[\begin{matrix} \text{上限1.2} \\ \text{下限0.8} \end{matrix} \right]$ (※1)

※4,000ドルはR財団セミナー開催補助費として使用します。

III. 貢献度勘案申請額 : クラブ申請額×寄付補正貢献度 (※2) ※ただし、50,000円以下の補助金申請額はそのまま反映

補助金総予算 = \$ 85,320
2014-15年次寄付
実績総額 \$ 328,575.36
⇒その25% = 9,528,975.44円

IV. 貢献度勘案申請額計 : 全クラブの貢献度勘案申請額(※2)の合計額 (※3) 9,401,856円
※50,000円以下の補助金申請クラブ及び50,000円以下の貢献度勘案申請額クラブを除く・・・(A)

4月ロータリーレート1\$=116円で計算

V. 地区補助金配分率 : $\frac{\text{補助金予算額} - (A) \text{クラブの貢献度勘案申請額の合計額}}{\text{貢献度勘案申請額計}(※3)} = \frac{9,382,620 \text{ 円}}{9,401,856 \text{ 円}} \approx 0.997954$ (※4)

VI. 地区補助金算出式 : 貢献度勘案申請額(※2)×地区補助金配分率(※4)



グローバル補助金委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長	津久井 功	(沼 田)
副委員長	小磯 正康	(前橋中央)
委員	小林 洋樹	(前 橋)
委員	久保田寿栄	(桐 生)
委員	高橋 郁夫	(伊勢崎)
委員	飯島 芳臣	(高崎シンフォニー)
委員	待山ラファット	(館林東)
委員	清水 一男	(渋 川)

今年度は、前橋ロータリークラブの VTT (16,268 ドル)・前橋東ロータリークラブの GG 奨学生 (15,000 ドル)・伊勢崎ロータリークラブ (10,000 ドル)・桐生西ロータリークラブ (5,000 ドル)・沼田ロータリークラブの VTT (41,422 ドル) からの申請があり、審査の結果 5 件、いずれも地区承認を致しました。

地区としては、グローバル補助金活用の事業を実施すべくいろいろな機会を通じて案内をしてきました。その結果として昨年度の 3 件、33,612.5 ドルの申請から 5 件、87,690 ドルに伸ばすことが出来ました。しかしながら、グローバル補助金を使用しての奨学生については、受け入れ先の問題もあり、まだまだ有効活用するところまで行っていません。

グローバル補助金を使用しての事業活動については、活用事例を発表する機会を設けていろいろなケースを共有する必要があります。



資金管理委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 渋澤 誠 (太田)
委員 大嶋 秀男 (高崎セントラル)
委員・署名人 町田 久 (渋川)
委員・署名人 金井 修 (前橋西)

2016-2017 実施年度(豊川年度)には、43 クラブの申請、41 のプロジェクトが承認されております。現在その内、30 クラブより報告書の提出を頂き 7 月 8 日(第 4 回)の審査において新に 8 件の審査を実施する予定であります。

一回の審査で、受理又は、ほぼ確認済みとなったプロジェクトが 20 件程度ございました。これは各クラブのご担当者が趣旨を良くご理解頂き、且、各分区担当の地区補助金委員のご協力の賜物と感謝しております。

本年度の報告書を拝見いたしますと、報告書 2-2,8(クラブ責任者報告)にほとんどのクラブが記載していただきました。プロジェクトの詳細や苦労話など審査に際し、大変参考になりました。有難うございました。次年度も記載していただく事を期待しております。

4 月に行われた地区補助金申請書最終審査会におきまして、5 回目の申請で初めて地区内 46 全てのクラブより申請をいただき全て単独事業、全て内定済みとなりました。

2017-2018 年度の申請より、原則として実施日を 4 月末までとし(プロジェクトの内容により柔軟に対応いたします)、プロジェクト実施後 1 ヶ月以内に報告書を提出していただく事となっております。ご理解の程宜しくお願いいたします。従いまして、事業年度末(6 月末)には全ての報告書審査が完了し、各クラブ様への地区補助金の送金が例年より早く行える事を想定しております。

次年度の申請書、報告書につきましては、Web による提出を検討しております。8 月の財団セミナー、11 月の補助金管理セミナーにおいてご説明できるよう準備をすすめております。

各クラブのご担当者におかれては、早い段階にて分区担当地区補助金委員とプロジェクト内容を詳細に協議し、ハンドブックを活用して申請されますようお願い申し上げます。

終わりに、各分区担当地区補助金委員、議事録等を作成して下さった担当地区副幹事、ガバナー事務局の皆様にご挨拶いたします。

ありがとうございました。



ポリオプラス委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 内山 均 (前橋東)
委員 橋谷 晋治 (高崎北)
委員 牧 謙良 (渋川みどり)

今年度、全会員の皆様に 1 人あたり 30 ドルのご寄付をお願いしました。ポリオプラスレポートによりますと、2017 年 5 月末現在では、43,710 ドルのご協力を頂きましたので、2840 地区会員数約 2,000 人としますと、達成率 73%ほどになっています。

6 月末現在では更にご協力を頂いていると思いますので、達成率はかなり上昇していると思われます。皆様方の 1 年間のご協力に、委員会として心より感謝申し上げます。

ポリオ撲滅週報によりますと、残念ながら、今年度もポリオフリーを全世界的には宣言できませんでした。ロータリー年度とは異なりますが、2014 年に全世界で 365 件の発症例が、2015 年では 74 件、2016 年では 37 件と確実に減少しています。2017 年 1 月～6 月末現在では 6 件の発症例が報告されているだけです。2017 年では、野生型ポリオウイルスの発症件数は、大幅な減少が見込まれます。

しかしながら残念なことにワクチン由来ポリオウイルス (vDPV) の発症件数が 26 件と、これまでになく大量に報告されています。特にシリアだけで 22 件となっています。紛争と無関係ではないと思われるので、ポリオ撲滅には世界平和がなんと言っても欠かせない条件の一つだと思われます。

来年度も引き続き委員長を務めさせて頂きますので、是非会員皆様のご継続の 1 人あたり 30 ドルのご寄付を、お願い致します。

またガバナー補佐・会長・幹事各位には、お忙しいとは思いますが、ロータリーポリオプラスレポートをご覧いただき、クラブ毎のご寄付の実績残高に関心を持って頂きたく、お願い致します。

豊川一男ガバナーが、特にポリオ撲滅に理解を示され、生方年度の地区大会では、ポリオの赤い T シャツ姿で壇上に立たれたことが思い出されます。一日も早くポリオ委員会が必要なくなる日が来ることを、皆様と共に願い、これまでのご協力頂きました全ての方々に感謝申し上げます。年間の報告とさせていただきます。

会員組織強化委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長	安藤震太郎	(高崎北)
副委員長	竹内 正幸	(太 田)
委員	佐藤 信一	(前橋東)
委員	阿佐美 博	(桐生西)
委員	赤堀 賢二	(伊勢崎東)
委員	市川 豊行	(高 崎)
委員	星野 正義	(新 田)
委員	宮内 敦夫	(館 林)
委員	岸 権三郎	(渋川みどり)
委員	大塚 慶甫	(藤岡北)
担当副幹事	横尾 眞喜	(富岡中央)

当年度の会員増強目標はガバナーの方針に則り以下のように設定致しました、

地区全体で3%の増強を図る	純増 62名
会員50名未満のクラブ	純増 1名以上
会員50名を超えるクラブ	純増 2名以上

- (1) この目標でスタート致しましたが、直近のデータでは5月末の確定数字のみですが、この時点で期末の会員数を推定いたしますと期初2058名にてスタート致しましたが、5月末時点では2111名と53名の増加となっております。例年6月末に退会者が増加致しますがこれを勘案して推測いたしますと、2070名程と推測され地区全体で2%増強となり地区目標の3%は未達となる予測となります。

誠に残念ですが全国の地区の中には会員数のマイナスとなる地区も多くある現状から会員増が出来ることはロータリアン各位のクラブ活性化にかける熱意の表れであると感謝申し上げます。

- (2) 女性会員の増加につきましては期初122名にてスタート致しました。5月末現在にて138名の16名の増加となり構成率は7%となりました。女性会員ゼロクラブは期初7クラブでしたが5月末には4クラブとなりました。出来るだけ早くゼロクラブを無くすようこれからも努力いたします。
- (3) 全クラブの純増については5月末時点での数字ですが46クラブ中26クラブが達成しております。しかし20クラブが未達です、残り1カ月でもう少し良い結果となることを望みます。
- (4) 会員組織強化委員会では2016年8月27日、と2017年1月28日の2回委員会を開催いたしました。それに先だつ1カ月ほど前に各クラブ会長あて会員増強の目標・その方策についてアンケートをお願いしその結果を基に委員会を開催し会員増強と退会防止を検討いたしました。

女性ネットワーク委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

アドバイザー 疋田 博之 (桐 生)
委員長 望月 和子 (前 橋)
副委員長 阿部 豊子 (館林東)
委員 小林 博子 (桐生赤城)
委員 関口 啓子 (高崎南)
委員 北澤恵美子 (太田中央)
委員 中島千香子 (藤 岡)
担当副幹事 和田 雅之 (碓氷安中)

「女性ネットワーク委員会」は、2014～2015年度に、女性会員の拡大増強を目的に発足いたしました。女性会員数は、2015年3月には108名、2016年度末には124名、2017年5月末には136名と徐々に増加してきています。今年度の目標のひとつは、女性会員0のクラブをなくすことでした。前年度の6クラブから一つ減りましたが、残念ながら2017年5月末現在、5クラブが女性会員0となっています。

女性会員が入会しやすい環境を整え、女性会員が入会しやすいよう、また女性会員0のクラブがなくなるよう、次年度も引き続き努力していきたいと考えています。

次に女性会員の視点を生かしたイベントについてです。

新しい試みでしたので、委員会で協議した結果、幼小児に本物の音楽に親しんでもらう機会として、「ロータリーちびっこコンサート」を行うこととしました。平成29年4月2日、前橋市の県生涯学習センターにて、幼稚園児～低学年の児童を対象に、4人のプロの奏者（ファゴット、ヴァイオリン、フルート、ピアノ）をお願いして、コンサートを開催しました。当日は67名のお子さんと保護者の方、多数のロータリーアンの方にご来場いただき、無事開催することができました。ロータリー会員の方々の暖かい御協力に、感謝いたします。初めての試みであり、広報の方法等検討事項もありました。同時におこないませんでした「子供相談」は、1名の保護者の相談がありました。

以上、本年度の報告とさせていただきます。

公共イメージ委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

アドバイザー	福田 一良	(前橋西)
委員長	矢嶋 真	(高崎)
委員	新井 照秋	(前橋東)
委員	野口 秀樹	(桐生中央)
委員	木暮 晃	(伊勢崎中央)
委員	高橋 永一	(高崎東)
委員	金谷 光明	(太田西)
担当副幹事	林 直男	(藤岡)

□ オンツアー・アトランタ

6月10日から14日の日程で開催されるアトランタでの国際大会に地区会員の皆様が参加するためのお手伝いをさせていただきました。

当初の目標であった60名登録には遠く及びませんでした。最終的に33名の方々が渡米され、うち9名の会員・ご家族をJTBの担当の方とともに地区ツアーという形でサポートさせていただきました。

開会式後、現地でおこなわれた地区夕食会には19名のご参加をいただきました。

<反省点・引き継ぎ事項>

○早期登録による登録料割引の案内を的確にできませんでした。

以下、トロント大会の特別割引を記しておきます。

- ・2017年 6月15日～2017年12月15日 \$335 (オンライン) \$345 (郵送/FAX)
- ・2017年12月16日～2018年 3月31日 \$410 (オンライン) \$420 (郵送/FAX)
- ・2018年 4月 1日～2018年 6月27日 \$495

○地区ツアーの早期決定・募集はもちろん、地区夕食会開催にあたり全体での参加者把握や連絡手段の確立が必要です。

□ 地域社会への発信

財団委員会に多大なるご配慮・ご支援をいただき、地区大会直前に上毛新聞紙面1ページを使い、財団100周年の記事をメインに各クラブの情報を掲載しました。

<引き継ぎ事項>

○前年度より提案の、「分区ごとに同じ形式で新会長・幹事の紹介を記事として・・・」という件について本年度の実現はできませんでしたが、次年度は『群馬経済新聞』『上毛新聞』それぞれにクラブ単位の記事掲載予定があります。以降、形を変えながらも継続されることを望みます。



管理運営・IT委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 田中 久夫 (高 崎)
副委員長 渡邊 常二 (沼田中央)
委員 岡本 謙一 (高 崎)
担当副幹事 伊藤 好則 (富 岡)

【管理運営委員会】

地区と分区、分区と各クラブとの連携を強化し、効率的なクラブ運営への助言をした。主に、以下の点を重視した。

- 1 RI の定める「特別月間」のテーマに沿った助言
- 2 「出前卓話・研修」のための講師派遣
- 3 RLI セミナー開催への支援

【IT委員会】

RI、地区、各クラブにおいて情報を共有するために、IT の効果的な活用を推進・支援してきた。主に、以下の点を重視した。

- 1 「ロータリークラブ・セントラル」、「マイ・ロータリー」への登録推進
- 2 地区研修協議会における「マイ・ロータリー」登録のための実践講座の開催
- 3 委員会活動の前提たる「出欠システム」の開発・導入の推進

学友委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 中繁 基 (館林西)
委員 菊川 善明 (前 橋)
委員 杉浦 芳郎 (高崎東)
担当副幹事 深井 正毅 (藤岡北)

昨年度(2015～2016 生方ガバナー)に新設されました、当学友委員会も二年目に入りましたが、RIの定義が広がり、ロータリーの学友には、ローターアクト、インターアクト、青少年交換、国際親善奨学生、グローバル補助金による奨学生、GSE、職業研修チーム、RYLA、ロータリー平和フェロー、米山記念奨学生(日本のみ)を含むすべてのロータリープログラムの参加者が含まれる様になりましたが、まだロータリーのメンバーには認知されていません。本年もまた学友名簿の調査と作成を推進して来ましたが、二人の委員の協力はもとより、ガバナー事務所スタッフの協力を頂き、一歩前進することが出来ましたが、資料不足と個人情報保護法がある為、十分な調査を推進することが出来ませんでした。不十分ではありますが学友名簿を各クラブの活動に役立てて頂ければ幸いに思います。今後もより一層充実した名簿を作成することが出来ればと深く反省し委員会報告と致します。

記

2015年	12月5日	第1回ガバナー補佐、委員長会議 ガバナー補佐各位に調査協力を依頼	前橋商工会議所
2016年	1月29日	豊川ガバナーエレクトと委員会打合せ 各学友名簿調査依頼	ガバナー事務所
	2月14日	地区チーム研修セミナー	前橋問屋町会館
	3月19日	会長・幹事セミナー	伊香保福一
	～20日	学友委員会活動方針発表	
	3月30日	ガバナー事務所スタッフと打合せ	ガバナー事務所
	4月17日	第2回ガバナー補佐、委員長会議 学友名簿調査依頼	前橋問屋町会館
	5月22日	地区研修・協議会 学友名簿調査依頼	藤岡みかぼみらい館
	6月30日	ガバナー事務所スタッフと打合せ	ガバナー事務所
	7月 8日	第1回学友委員会	ガバナー事務所
	7月29日	ガバナー事務所スタッフと打合せ	ガバナー事務所
2017年	3月16日	学友関係委員会、委員長打合せ	ガバナー事務所
	5月30日	ガバナー事務所スタッフと打合せ	ガバナー事務所
	6月12日	第2回学友委員会	ガバナー事務所

職業奉仕・地域社会奉仕・国際奉仕委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 堀口 正孝 (安 中)
副委員長 近藤日出夫 (前橋東)
委 員 市川 誠二 (高 崎)
委 員 川島 勝 (館林東)
委 員 齋藤 清海 (渋 川)
担当副幹事 林 直男 (藤 岡)
担当副幹事 嶋田 佳幸 (富岡かぶら)

本年度の事業としては職業奉仕事業及び専門職務の道徳的に水準を高め、品位ある業務をすべて尊重し、あらゆる職業に携わるなかで奉仕の理念を持つものであります。

ロータリーの理念に従って自分自身を律し事業を行う。

地域社会はクラブの地区内全体の生活の質を高めるために、他団体とも協力しながら地域社会の生活を高めるよう協力する。

国際奉仕は他国の人々との文化、習慣、功績などを認識を養い国際理解、親善、平和を推進するために会員に活動していただく。

前年度 2015～16 年度に 3 年分のアンケートを取り、本年度 2016～17 年度 1 年分のアンケートを各クラブより頂きました、4 年分のアンケート調査の結果をぜひ各クラブで奉仕活動の参考にして頂き今後の活動の参考になってもらいたいと思いアンケート調査を行いました。

委員会として

- 1 回目委員会開催 平成 27 年 5 月 11 日高崎ビューホテル委員会方針発表する。
- 2 回目委員会開催 平成 29 年 1 月 委員会メンバーよりクラブの奉仕活動の情報収集。
- アンケート実施 平成 29 年 4 月 内容の検討している。
平成 29 年 4 月 アンケート発送。
- 3 回委員会開催 平成 29 年 5 月 ガバナー事務所にてアンケート中間報告。
- アンケート回収 平成 29 年 5 月 各クラブより。
- アンケートまとめ 平成 29 年 6 月
- アンケート発送 平成 29 年 6 月 各クラブ会長エレクト様宛発送いたしました。

一年間委員会の皆様、又アンケートご協力いただきましたクラブに皆様有難うございました。この資料が各クラブ奉仕事業に参考になりますようにお使い下さい。

以上です。

青少年交換委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 関根 俊夫 (安中)		副委員長 須永 聡介 (桐生赤城)
副委員長 原 敬 (伊勢崎)		委員 服部 忠夫 (伊勢崎中央)
委員 新井 聡 (前橋西)		担当地区副幹事 古賀 直樹 (安中)
委員 原 精一 (館林ミレニアム)		担当地区副幹事 横尾 眞喜 (富岡中央)
委員 小林 京子 (富岡)		次年度担当地区副幹事 岡本 謙一 (高崎)
委員 阿久澤嘉一 (高崎)		次年度担当地区副幹事 金井 克智 (高崎)
委員 吉野 矩久 (高崎東)		次年度担当地区副幹事 竹山 哲男 (高崎)
委員 平井 克明 (沼田中央)		次年度担当地区副幹事 三村 治 (高崎)
委員 斎藤 正典 (沼田)		

豊川年度の青少年交換事業は、下記の事業を実施しました。

	派遣学生事業	委員会	受入学生事業
2016年7月31日	豊川年度長期派遣学生壮行会	委員会	
2016年8月28日	生方年度派遣学生帰朝報告会	委員会	豊川年度受入学生歓迎会 第1回受入学生オリエンテーション クラブ・ホストファミリーオリエンテーション、学校懇談会
2016年9月17日			第2回受入学生県内移動オリエンテーション
2016年10月1,2日			R Y L A 研修会参加
2016年10月8日	田中年度派遣学生選考会準備	委員会	
2016年10月23日	田中年度派遣学生選考会	委員会	
2016年11月13日	派遣候補生第1回オリエンテーション	委員会	第3回受入学生オリエンテーション ホストファミリー情報交歓会
2016年12月17日	派遣候補生第2回オリエンテーション クリスマス会	委員会	第4回受入学生オリエンテーション クリスマス会
2017年1月13日		委員会	
2017年1月21日	派遣候補生第3回オリエンテーション	委員会	
2017年2月11日	派遣候補生第4回オリエンテーション	委員会	
2017年2月26日			第5回受入学生千葉方面移動オリエンテーション
2017年3月18日	派遣候補生第5回オリエンテーション	委員会	第6回受入学生オリエンテーション ホストファミリー情報交歓会
2017年4月16日			地区大会参加
2017年4月22日	派遣候補生第6回オリエンテーション	委員会	田中年度第1回クラブ・ホストファミリーオリエンテーション
2017年5月13日	派遣候補生第7回オリエンテーション	委員会	
2017年5月28日			第7回受入学生山梨方面移動オリエンテーション
2017年6月10日	派遣候補生第8回オリエンテーション	委員会	田中年度第2回クラブ・ホストファミリーオリエンテーション
2017年6月25日	田中年度短期派遣学生歓送会 派遣候補生第9回オリエンテーション	委員会	豊川年度長期受入学生歓送会 田中年度短期受入学生歓迎会

このように年間を通し、絶え間なく事業は実施され、1学生の選考試験から帰朝報告会までには3ガバナー年度に跨った事業になることが本委員会の特徴と言えます。これらの事業を推進するためには多種多様に亘る資料の準備や交換相手地区との交渉及び詳細な調整が必要であり、万一トラブルが発生した場合は交換学生を守るため待たなしの対応が要求されます。しかし、長期プログラムを修了し大きく成長した学生の姿を見ますと、改めて青少年交換事業の意義深さを実感いたします。委員の皆様のご尽力はもちろんですが、ROTEXの協力、活躍が大きな力となった事も申し添えます。

今後も、青少年交換プログラムに益々のご理解を賜りまして、より一層のご指導とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

豊川ガバナーはじめ地区役員の皆様、ホストクラブの皆様、ホストファミリーの皆様、委員会の皆様、ROTEXの皆様、このプログラムに関わっていただいた全ての方へ心より感謝申し上げます。事業報告とさせていただきます。




2016-2017年度 長期派遣学生

			
派遣候補生氏名	大山 幹太(カンタ)	関 純之介(ジュンノスケ)	上野 拳輔(ケンスケ)
性別	男	男	男
派遣地区候補	RID 5100(オレゴン)	RID 7170(ニューヨーク)	RID 5630(ネブラスカ)
年齢(派遣時)	16才	16才	16才
スポンサークラブ	伊勢崎RC	高崎RC	高崎東RC
学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	東京農業大学第二高等学校	高崎健康福祉大学高崎高等学校
交換学生氏名	William Geoffrey CHRISTENSEN	Samantha Kay VELLENGA	Jacobi Noelle POPP

2016-2017年度 長期派遣学生


		
派遣候補生氏名	津久井 歩里(アユリ)	大嶋 紀穂(キホ)
性別	女	女
派遣地区候補	RID 5890(テキサス)	RID 5950(ミネソタ)
年齢(派遣時)	15才	16才
スポンサークラブ	太田南RC	安中RC
学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	新島学園高等学校
交換学生氏名	Jarod Quoc NGUYEN	Jasmine Breanna GEORGE-BROOKS

2016-2017年度 長期受入学生




			
受入学生氏名	William Geoffrey CHRISTENSEN	Samantha Kay VELLENGA	Jacobi Noelle POPP
出身地区	RID 5100(オレゴン)	RID 7170(ニューヨーク)	RID 5630(ネブラスカ)
年齢(来日時)	16才	17才	18才
ホストクラブ	伊勢崎RC	高崎RC	高崎東RC
受入学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	高崎健康福祉大学高崎高等学校	高崎健康福祉大学高崎高等学校
交換学生氏名	大山 幹太	関 純之介	上野 拳輔

2016-2017年度 長期受入学生

2016-2017年度 短期受入学生

			
受入学生氏名	Jarod Quoc NGUYEN	Jasmine Breanna GEORGE-BROOKS	Treasure Dianne Stacy ROARK
出身地区	RID 5890(テキサス)	RID 5950(ミネソタ)	RID 5100(オレゴン)
年齢(来日時)	17才	18才	18才
ホストクラブ	太田南RC	安中RC	伊勢崎中央RC
受入学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	新島学園高等学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
交換学生氏名	津久井 歩里	大嶋 紀穂	(ワンウェイ)

2017-2018年度 長期派遣学生

				
派遣候補生氏名	飯塚 もも子(モモコ)	熊木 玲菜(レイナ)	柴崎 葵衣(アオイ)	町田 祐里奈(ユリナ)
性別	女	女	女	女
派遣地区候補	D-5960(ミネソタ)	D-5890(テキサス)	D-5100(オレゴン)	D-5910(テキサス)
年齢(派遣時)	16才	17才	15才	16才
スポンサークラブ	藤岡北RC	安中RC	桐生RC	伊勢崎RC
学校	埼玉県立本庄高等学校	新島学園高等学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
交換学生氏名	Mae Cailin HOVLAND	Sonja Marie KOZUCH	Everett Michael BISHOP	Julie Marie Munsch

2017-2018年度 短期派遣学生

		
派遣候補生氏名	吉田 侑未(ユウミ)	木村 泰史(タイシ)
性別	女	男
派遣地区候補	D-5910(テキサス)	D-5100(オレゴン)
年齢(派遣時)	15才	16才
スポンサークラブ	前橋北RC	桐生RC
学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	樹徳高等学校
交換学生氏名	Savannah Grace Litton	MARTIN Ada Sophia

2017-2018年度 長期受入学生

				
	Mae	Sonja	Evan	Julie
受入学生氏名	Mae Cailin HOVLAND	Sonja Marie KOZUCH	Everett Michael BISHOP	Julie Marie Munsch
出身地区	D-5960(ミネソタ)	D-5890(テキサス)	D-5100(オレゴン)	D-5910(テキサス)
年齢(来日時)	18歳	17歳	16歳	15歳
ホストクラブ	藤岡北RC	安中RC	桐生RC	伊勢崎RC
受入学校	埼玉県立本庄高等学校	新島学園高等学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
交換学生氏名	飯塚 もも子	熊木 玲菜	柴崎 葵衣	町田 祐里奈

2017-2018年度 短期受入学生

			
	Savannah	Ada	Lauren
受入学生氏名	Savannah Grace Litton	MARTIN Ada Sophia	Lauren Erica Hegemann
出身地区	D-5910(テキサス)	D-5100(オレゴン)	D-5100(オレゴン)
年齢(来日時)	16歳	16歳	17歳
ホストクラブ	前橋北RC	桐生RC	桐生RC
受入学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	樹徳高等学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
交換学生氏名	吉田 侑未	木村 泰史	(ワンウェイ)

インターアクト委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 桑原 志郎 (桐 生)

委員 稲田 信昌 (新 田)

委員 田嶋 宏樹 (前橋南)

担当副幹事 小林 宣行 (藤岡南)

◎インターアクト・顧問教師・ロータリアン合同会議

日 時 2017年7月9日(土) 11:30~16:00

場 所 桐生商工会議所

参加者 インターアクター33名(15校)・顧問教師20名(15校)・地区役員7名

ロータリアン27名(15RC)・桐生RC支援者16名 計103名

内 容 (1)開会行事 (2)各校インターアクトクラブ状況報告 (3)グループ討論会

◎インターアクト年次大会

日 時 2017年7月25日(土) 8:30~16:00

場 所 桐生市市民文化会館

参加者 インターアクター118名(16校)・顧問教師23名(16校)・来賓16名

ロータリアン42名(16RC)・桐生RC支援者25名・桐生RAC10名 計234名

大会テーマ「紡ぐ力~人々の思いやり~」

内 容 (1)開会行事・ガバナ式辞・来賓祝辞

(2)基調講演「研究者への道と教訓」群馬大学理工学府教授 板橋英之氏

(3)分科会(4分科会)①「エコを知ろう乗ろう!桐生の技~MAYU乗」 ②「感じよう!桐生の伝統~織と染め体験~」 ③「作ろう!桐生の味~うどん打ち体験~」

④「たたこう!桐生の太鼓~心と体で音色を体験~」

◎ロータリーアクト国際交流事業

☆台湾研修

日 時 2017年3月23日(木)~3月26日(日) 3泊4日

訪問先 台湾清傳高級学校・三重高級中学校

参加者 群馬23名(生徒21名・R-列ア1名・顧問教師1名)新潟18名(生徒14名・R-列ア4名)

目 的 国際交流事業を通して、若者に異文化に対する受容性を養う

内 容 台湾インターアクターの1泊ホームステイを含んだ交流

☆台湾学生受入事業(新潟県担当)

日 時 2017年4月14日(金)~4月16日(日) 2泊3日

参加者 清傳高級学校生徒20名 三重高級中学校生徒24名 学校関係者9名

三重中央ロータリークラブ12名 計65名

群馬県からは生徒19名・顧問教師2名・ロータリアン5名 計26名

群馬県からは生徒12名・顧問教師4名・ロータリアン35名 計51名

内 容 新潟県上越高校において「歓迎セレモニー」を実施後、台湾生徒はホームステイへ

翌日、「さよならパーティー」を行い、台湾・日本の生徒は国立妙高青少年の家で宿泊

ローターアクト委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 飯島 千明 (沼 田)
委員 湯浅 年則 (富 岡)
委員 岸 慈音 (伊勢崎)
担当副幹事 和田 雅之 (碓氷安中)

今年度、地区ローターアクトはターゲットに「#FUN」を掲げ、楽しいアクトを目的に活動してきました。会員減少や活動休止など課題を抱える地区ローターアクトの再生を目指し、交流をメイン事業にし行動してきました。

① 2560 地区 (新潟) との合同行事 (2016.9.16-17 新潟県佐渡市)

RAC9 名、オブザーバー 1 名 合計 10 名参加

かつて同じ地区として活動していた 2560 地区と年に一度、交流事業を行っています。今年度は 2560 地区がホストになり、佐渡金銀山の世界遺産登録に向けての活動や、トキ保護等の環境保護活動で全国的に注目を集めている佐渡市で開催されました。懇親会ではレクリエーションを通じて親睦を深めると共に、お互いの地区やクラブの活動状況・問題点等を話し合ったり、2 日間とても有意義な時間を過ごす事ができました。

② アジア第 1 ゾーン代表者会議 (2016.9.24 プレミアホテル TUBAKI 札幌)

RC1 名、RAC1 名 合計 2 名参加

アジア第 1 ゾーンに属する各地の代表者 (地区 RA 代表・地区 RA 代表エレクト・地区 RA 委員長等) が一堂に会し、ローターアクトの今後について議論を交わしました。当地区は前年度のホストを務めましたので、萩原パスト代表 (太田 RAC) より事業報告並びに会計報告を行いました。

③ RYLA 研修 (2016.10.1-2 川場村なかのビレッジ)

第 16 回 RYLA 研修会が川場村なかのビレッジで行われました。研修メインプログラムは模擬国連。他にも「水環境について」の講習やガスバ草津群馬監督の「サッカーがくれた宝物」をテーマにした講演や、選手とサッカーボールを使って体を動かすプログラムなど、参加者が交流できる楽しいイベントもあり、有意義な時間となりました。同世代の交流を通し、今後につながる出会いもありました。

④ 地区行事第 1 弾 スポーツフェスティバル (2017.10.16 旧前橋東商業高校体育館)

RC2 名、RAC18 名、オブザーバー 2 名 合計 22 名

全 6 競技を 3 チームに分かれて競いました。オブザーバー 2 名を含め、アクターとして初めて地区行事に参加する会員も多かったため、年度初めの時期にスポーツを通じて親睦を深める良い機会になりました。

⑤ 地区年次大会 (2017.2.11 桐生プリオパレス)

大会テーマである「アクティブ」を心に刻み、一人一人が積極的に動き、地区ローターアクト全体でご来場者様をお迎え致しました。各クラブの活動発表も動画を使ったり、授業風に発表したりと、それぞれ特徴ある発表会となりました。多くのロータリアン、友好地区のローターアクト、当地区ローターアクト OB・OG に来場いただき、親睦会でも嗜好のこらしたレクリエーションで世代・地区を超え親睦を深める事ができました。

RYLA委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

委員長 樋口 義幸 (沼田中央)

委員 三澤 俊之 (安 中)

担当副幹事・委員 古市 和男 (藤岡南)

私がRYLA委員として地区に出向くようになり、3年目でRYLA研修会を主催できたことに感謝いたします。

1年目2年目に全国RYLA研究会に参加できたことが勉強になりました。

全国で34地区その内RYLA研修会を開催している地区が28地区、地区により日帰りから3泊4日に渡って行われ、日数や内容がかなり異なっているため大変驚きました、我が地区では純粹に研修を行おうと思いました。

平成28年10月1日7時30分川場村文化会館にてスタッフ18名ボーイスカウト13名でスタッフミーティングを行い、第16回RYLA研修会がスタート、ボーイスカウトは道路案内板を持ち石坂さんの車でそれぞれの担当場所へと移動し遠方から来場される方々が迷わないよう道角に立ち、会場では「共に学ぼう、共に語ろう、今を未来に、in星降る山紫水明の地 利根沼田」のスローガンをステージ後方に掲げ皆様の来場を待ちました。

今回は2840地区46クラブ中21クラブに参加戴き、ロータリアン推薦の企業戦士、ローターアクター、米山記念奨学生そして青少年交換学生(アメリカの高校生)達94名そして沼田中央RCから26名が参加し、2016～2017年度の地区スローガン、「人類に奉仕するロータリー」を実践し、リーダーシップのとれる人になれる様研修会を開催しました、開会式に先駆け2840地区ローターアクトクラブ代表樋口真希さんをお願いしておいたウエルカムゲームを行い皆さんの研修が始まりました。

開会の言葉を地区副幹事、古市和男さんより頂き、沼田中央RC永井寛之会長の点鐘、会長エレクト堤康喜智さん指揮のもと君が代、4つのテストを合唱し、豊川ガバナー、続いているいろいろご便宜戴いた開催地川場村村長外山京太郎さんよりご挨拶いただき、田中久夫ガバナーエレクトよりリーダーシップのお話を頂き、主催者、会長の挨拶が有り、まずは水の処理について公益財団法人群馬県環境検査事業団小林幸夫さんより基調講演を戴き、水に対して皆さんに感心を持ってもらいました。

第二会場、世田谷区民健康村なかのビレッジに場所を移し昼食のお弁当を美味しく戴き、13時より沼田中央RCのメンバーがカウンセラーになり12組に分かれ炉辺会議を行いリーダーシップについてというテーマで活発に意見交換が行われました。続いて明日の研修「模擬国連」について、日本模擬国連講師、木村さん、黒田さん、小川さんの3名の女子大生に説明していただきました。

次にサッカーJ2リーグ ザスバ草津監督の服部浩さんより、自分の体験談でもある「サッカーがくれた宝物」という基調講演戴き、場所を屋根付き広場に移しサッカーのミニゲームを行いながら、初めて会った人達がチームワーク作り、その中でリーダーシップを発揮する人もいて汗を流しながら白熱したゲームを楽しみ、そして待ちに待った夕食の時間となり、地元でとれた作物を美味しく料理して戴き、みなお腹いっぱい食べていました、また今回の研修は禁酒をお願いしていたので酒類は有りません。休む間もなく群馬県立ぐんま天文台、浜根寿彦さんより残念ながら曇天になってしまいましたので、プロジェクターを使用し秋の星空について講演を戴き、これには米山記念奨学生も大変興味深く聞き入っていました。

さらに場所を移動し、沼田市の陶芸作家、新藤廣子先生に教を戴きこぶし大のカエルをみんなで作成し、みなさんの作品を先生の窯で焼いて戴き、後日各RC宛に送りました。みなさんの陶芸体験終了に合わせ、沼田中央RC会員により味噌まんじゅうが焼かれ会場で焼けた味噌のにおいが漂い美味しく焼かれた味噌まんじゅうが振る舞われました、先ほど夕食を食べた後にも係わらず、皆美味しく戴きました。こうして色々なことを体験してきた一日目が終了しました。

朝外でのラジオ体操から2日目が始まり、体をほぐした後展望の良い丘へと少し歩くと沼田盆地の河岸段丘がまさに紫色に遠く霞んで見え気持ちの良い朝を迎えました、散歩の後、朝食はバイキング形式で自分の好きなものを好きなだけいただき、再び川場村文化会館へと移動、今回のメイン模擬国連が始まりました。テーマ「水と人権」日本では水道をひねると当たり前のように安全な水が出てきますが、世界ではこのような国はまれです、18カ国の大使となり討論し、各大使は与えられた国のスタンスに基づき、水を当たり前に手に入れられる人権派と、水は物、商品で有るニーズ派に分かれ討論しました。

この模擬国連の中でリーダーシップを身につけるだけでなく、リサーチ能力、プレゼンテーション能力など社会で必要な物を身に付けられた事と思います。討論でいろいろ頭を使い、隣の田園プラザホテルで美味しいランチバイキングをいただき、仲間と話し合う時間を持って、午後の決議に向かいました。

そのみなさんが導き出した結論は、水はニーズであると過半数を締め採択されました。

貴重な二日間でした、研修生の皆さん、模擬国連にてデンマーク大使になって戴いた豊川ガバナー、堤沼田中央クラブ会長エレクト、そして支えて戴きましたRYLA実行委員会の皆さん、沼田中央RCの皆さん本当にありがとうございました。皆様に感謝です、ありがとうございました。

米山記念奨学委員会 活動報告

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

アドバイザー	高木貞一郎	(館 林)	委員長	齋藤 勝也	(富岡かぶら)
委員	星野 大輔	(前 橋)	委員	板橋 一博	(太 田)
委員	足立 進	(前橋東)	委員	関井 宏一	(館 林)
委員	黒岩 千春	(前橋西)	委員	高橋 昭紀	(沼田中央)
委員	多部田敬三	(伊勢崎)	委員	石田 均	(藤 岡)
委員	川嶋 正靖	(高 崎)			
担当副幹事	深井 正毅	(藤岡北)	担当副幹事	小林 宣行	(藤岡南)

米山記念奨学委員会の活動はロータリー年度とは異なり4月から始まり3月で終了する為、7月に前任の委員会(委員長)からバトンを渡される感じです。

最初の行事は2016年8月に指定校説明会が開催されました。これは2840地区内に於いて当委員会及び関係者が選考した指定校の大学関係者を集め、米山記念奨学事業の説明を行います。我々がどのような奨学生を求めているのかをご理解いただき、予め各大学に定員枠を与え、その範囲内に於いて優秀な留学生の推薦をお願いします。

9月には米山奨学セミナーと米山カウンセラー研修会が開かれました。カウンセラー研修会では2年目カウンセラー2名による体験発表に続き、カウンセラーの重要性の再確認、そして全員参加型によるディスカッションにより、今後の参考になる良い事例が沢山出されました。米山記念奨学セミナーでは、2840地区内の全クラブ会長、会長エレクト、幹事、米山奨学委員長にお集まりいただき、当奨学事業の詳細を説明し、寄付金のお願いと次年度の世話クラブへの立候補をお願いしました。また、8月に全クラブ対象に実施した米山アンケートの結果を発表し、寄付金の集め方、集める工夫、奨学会への意見等、参考になったと思われま

す。12月には12名の奨学生選考会面接官オリエンテーションが開催され、その後大学から推薦された29名の留学生を3グループに分け、それぞれ担当する留学生の資料、小論文が渡され1ヶ月かけて事前の検討を行います。

年が明け1月に面接が行われます。面接当日は全部で3グループに分かれ、各グループの面接官4名が約10名の面接を行いました。この結果と事前の書類審査の結果を踏まえ29名から13名を選出する大変気を使う長く、また責任の重い一日であります。

2月には、3月末に奨学生期間の終了する奨学生達の修了式が行われました。1年または2年間お世話して下さったカウンセラー、そして立派に成長してくれた奨学生、お互いの別れを惜しむ感動的なシーンに遭遇します。

4月には新カウンセラーセミナーと新奨学生オリエンテーションが開催されました。大学のゼミ担当教員も交え3名が初対面の緊張の中、ロータリー精神、米山の意義、それぞれの心構え等セミナーを進めるうちに緊張も打ち解け、良い雰囲気になっていきました。

この行事以外にも、米山学友会が主催する総会(6月)、忘年会(12月)がありました。

忙しい中にも変化に富んだ楽しい一年でした。一年間お付き合いいただいた高木米山記念奨学会理事、竹内同評議員、委員会メンバー、担当副幹事、ガバナー事務局員の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。

2016-2017年度 国際ロータリー第2840地区
会長エレクト・次年度幹事研修セミナー



ガバナー事務所スタッフ

国際ロータリー第2840地区 2016 - 2017年度

地区幹事 市村 信也 (藤岡南)

月信最終回

何はともあれ2017年6月31日を迎えることができることを「刑務所から出る前の受刑者の気持ち？」「自衛隊の入隊訓練を終了する新入隊員？」などと考えつつ、少し穏やかな心になり・社会(職業)復帰の準備を始めようとする今日この頃です。急遽副幹事から幹事に就任したための準備不足・不勉強を言い訳に皆さんの暖かい心に甘えさせていただきながら、一応の職責を全うできます事、感謝の気持ちでいっぱいです。

ガバナー排出クラブ(藤岡南)が小クラブであるため、第6分区の各クラブ・前橋クラブの皆様には副幹事排出、地区研修・協議会、地区大会等々全てにおいてご協力を頂きました、IMとはまた別の意味で絆ができたように思います。

副幹事の皆さん・事務局の皆さん・先輩幹事の皆さん・委員会の皆さん・ガバナー補佐の皆様、そしてパストガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニの皆様方御指導・ご協力ありがとうございました。

地区会計長 仁井田正弘 (藤岡南)

会計に縁のない私にとって、予算策定から不安9割期待1割で現在まで過ごしてきました。月並みではありますが、長いようで短く短いようで長い1年でした。ただ豊川年度が終了しようとしている実感があまりありません。何故なんだろう？最大の任務、決算報告が……………。

ガバナー事務所スタッフ

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

副幹事 伊藤 好則 (富岡)

当クラブの幹事(同級生)の強引な依頼により、地区に出向してから、あっという間の2年余りでした。その間、様々な方との出会いと共に、貴重な経験をさせていただきました。ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。

副幹事 林 直男 (藤岡)

ロータリーの役職は一年以上前から決めるルールなのでその後忙しくなるとは思ってなかったので受けてしまいましたが、他団体の役職が増え大変な一年でした。

20年以上藤岡 RC にいて地区の事はよくわからずで先輩顔(すら)も出来ないと思い、勉強になると思いき受けましたが、RC 運営の会議や相談もなく上から下りてくる「指示の仕事をする」というのが副幹事の仕事でした。(毎年同じなのかな?)

幹事が途中で変わったりしてうまく回ってない印象が強く、しかもそのことに関してはタブーのようで何の協議もありませんでした。地区の行事の「てこ」という感じの一年でした。良かったことは六分区の副幹事さん達とお友達になれたことです。

副幹事 古賀 直樹 (安中)

色々皆様にご迷惑ご心配をお掛けしながらもなんとか副幹事をやりきることが出来ました。この経験を経てロータリアンとしてちょっと自信をもらえたと思います。本当に皆様に感謝です。今後とも精進して参ります。

副幹事 深井 正毅 (藤岡北)

豊川ガバナー 一年間お疲れ様でした。

担当した第6分区、米山委員会では大変お世話になりました。また、副幹事の皆様には親しくご指導・ご鞭撻を賜り感謝申し上げます。

これからもロータリー精神に基づき活動に邁進してまいりたいと思います。

ガバナー事務所スタッフ

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

副幹事 横尾 眞喜 (富岡中央)

“皆様、今日は、副幹事の横尾です。宜しくお願い致します。”と挨拶して一年間。豊川一男ガバナーをはじめ、PG、地区役員、全ロータリアンの皆様に、ご協力を頂き、衷心より感謝申し上げます。有難うございました。

副幹事 和田 雅之 (碓氷安中)

2016 年度 2840 地区副幹事の一員に加わり、大変光栄であり貴重な経験をさせて頂きました。また、力不足で関係皆様にご迷惑をおかけしましたが、温かく見守って頂き、ありがとうございました。2016-2017 年度は、第 6 分区各ロータリーからの副幹事出向で、世代を越えた交流が生まれたと思います。スタッフ会議の度に私にとっての新たな知識と体験に毎回わくわくした胸の高鳴り感じたのを覚えています。このような、貴重な機会と経験が出来たのも豊川ガバナーのお陰です。深く感謝申し上げますと共にこれからのロータリーライフに役立てていきます。

副幹事 嶋田 佳幸 (富岡かぶら)

第 6 分区各クラブから地区副幹事が選出されるという、今までにないことでしたが、その分多くのメンバーと知り合い、そして多くの経験をさせて頂きました。今後この経験を生かしていけたらと思います。一年間お世話になりました。感謝。

副幹事 小林 宣行 (藤岡南)

冒頭、本年度、副幹事として藤岡南 RC より出向させていただき当クラブメンバー皆様に感謝申し上げます。当初は RC に入会 2 年目で副幹事の大役を遂行出来るか不安でいっぱいでしたが、市村幹事、各副幹事、事務局の入山様、佐藤様のご指導を頂き僅かしか役目を果たすことが出来ませんでした。私にとって RC を少し分かった事が今後の RC 活動の礎になると思います。

もう少し積極的に参加出来なかった事が本当に反省しておりますが、米山奨学委員会の齋藤委員長をはじめ委員会メンバーの皆様と出会えた事は、私にとって最高の宝になりました。本当にありがとうございました。

最後に、入山様、佐藤様には本当にお世話になり感謝申し上げます。

ガバナー事務所スタッフ

国際ロータリー第 2840 地区 2016 - 2017 年度

副幹事 古市 和男 (藤岡南)

ロータリー入会1年目で、当クラブからガバナーが輩出することにより、地区副幹事という大役を頂きました。最初は何もわからず何をして良いか迷い大変な思いをしましたが、周りの皆様に助けられながらここまでやってきました。

この一年間、支えて下さった皆様に心より感謝を申し上げます

「ありがとうございました^^」

事務局 入山 こず江

本年度は、初めて尽くしの一年でした。副幹事さんが第6分区の全クラブから出向して頂いたこと(感激)、PETSの直前で地区幹事さんが変わられたこと(衝撃的)、地区大会が4月に行われたこと(新鮮)などなど、新たな経験をさせて頂きました。豊川ガバナーはじめ、地区役員・ガバナースタッフの皆様、そして各クラブの皆様、本年度もお世話になりました。ありがとうございました。

事務局 佐藤由紀恵

豊川年度も1年間大変お世話になりました。

今年度も「自分が少し小さくなる」という目標が達成できず、またまた残念な結果に終わってしまいました。が、いつか目標達成できるよう頑張る?日々です。ありがとうございました。